

唐土訓蒙圖彙

自六至八

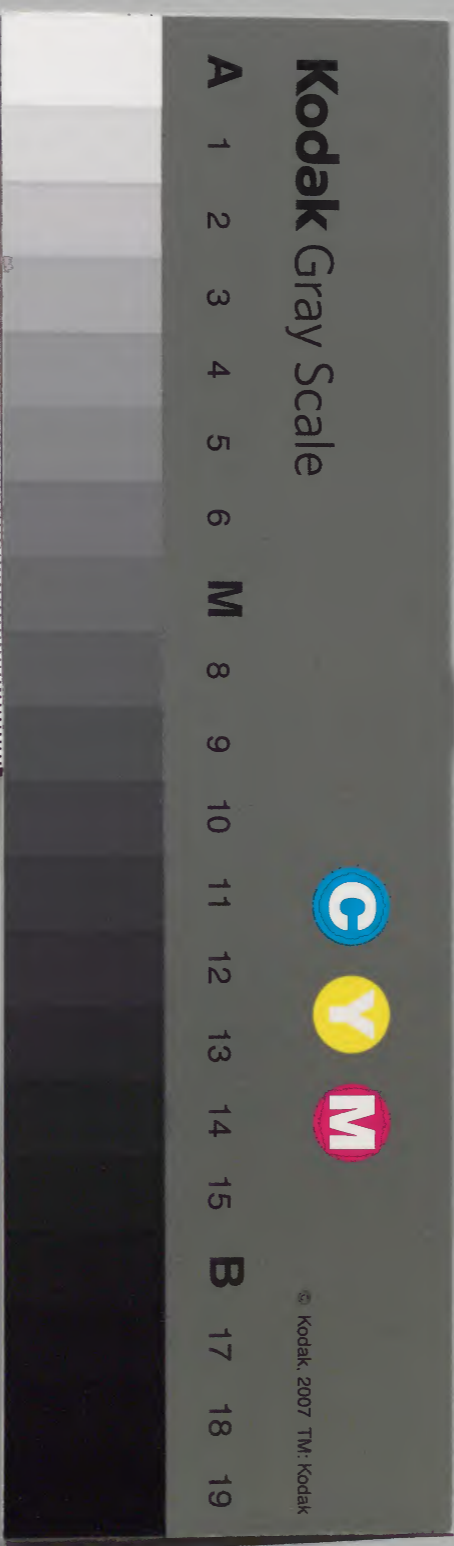
農商省
圖書
第一
冊五共

太政官文庫			
		一	和
		二	書
五	七	九	門
冊	架	函	號

內閣文庫			
		一	和
		二	書
二	三	九	類
函	架	冊	號

內閣文庫	
番號	和 11299
冊數	5 (3)
函號	184 361

典故



青政直
文庫

唐土訓蒙圖彙卷之六

法 總 射 歩



人事

此部ハ武藝ノ一ツテ農家ノ樂ミ
傀儡劇草白戯ノアウミマデニ
ノモテ乃チ其ノトナリ

唐土訓蒙圖彙卷之六

名の下ニ
和名と附

實握之射法圖

射法圖

實握之射法圖



此法ハ弓と一こいひ引えたる乃
 腕と直かりて弦月のあそくふり
 うと下りてふとく月れさるの
 とく氣の通うまひさるるこ

掌心推之射法圖

同上



此法ハ弓と引えたる腕のまがり
 心と對し射の平かりと衝る
 おとくにいてらハ八分の機が
 すなりとなり

馬射用圖

馬上にて射つとす



同上



馬空則圖



上二二二

拳法圖



以下十六圖同

拳法三



拳法三



拳法四



拳法五



拳法六



拳法七



唐土書院藏書卷六



拳法十



拳法十一



拳法八



拳法九

唐土神拳圖卷六



拳法四十



拳法五十



拳法二十



拳法三十

小治政

唐五

勢也伏埋面也



勢也服賓夷也四



勢也爪獻龍也



勢也針南之指



拳法六



勢也海探火也



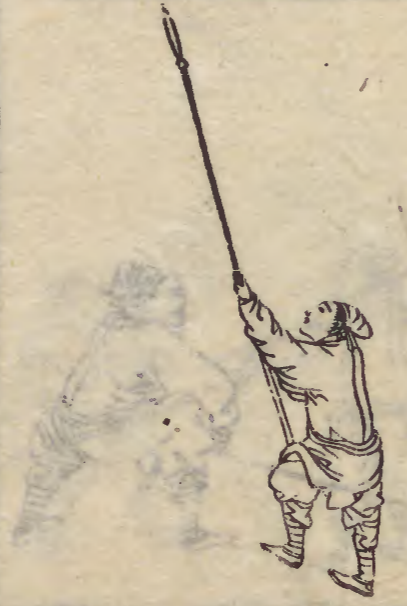
鎗法圖

和より後とつていへ

勢 水 滴



勢 天 朝



勢 龍 騎



勢 地 耕 牛 鐵



勢 殿 灣



勢 欄 邊



勢 錦 地 鋪



勢 竿 旗 鐵



唐 武 宗 御 筆 畫 卷 六

七

勢門鴻聞



勢針認人美



勢虎伏



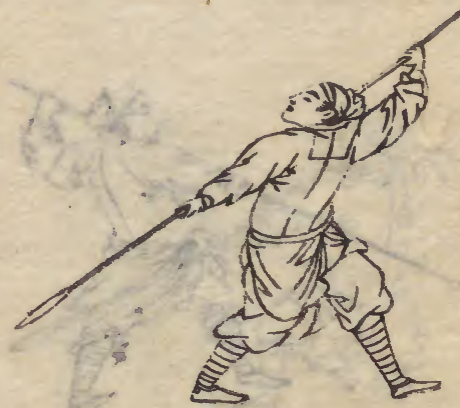
勢尾擺龍蒼



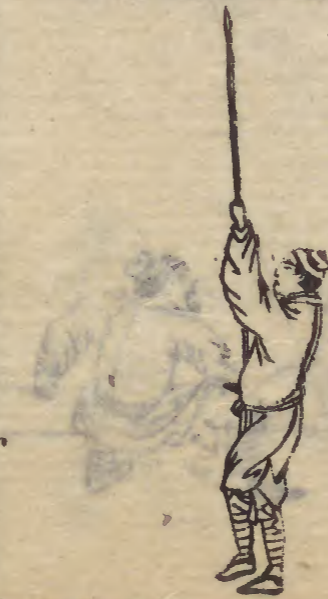
勢鼠捉猫靈



勢刀拖猿白



勢卵壓山太



勢琶琵



勢い路ろ指さし人ひと之の似に



勢い牌はい之の滾ころ



勢い衣い之の孔くわ開ひら



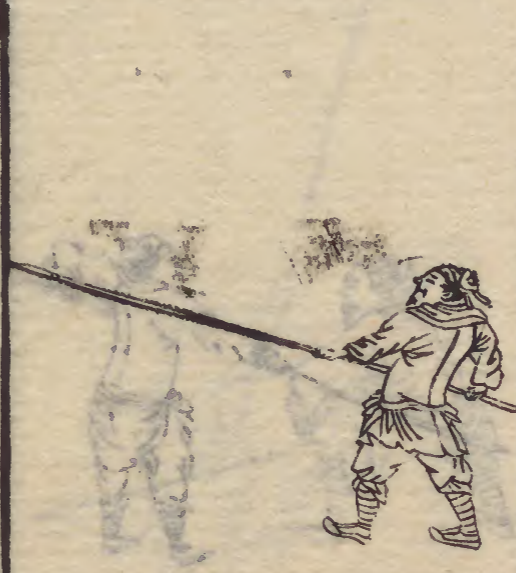
勢い之の行ゆ針はり



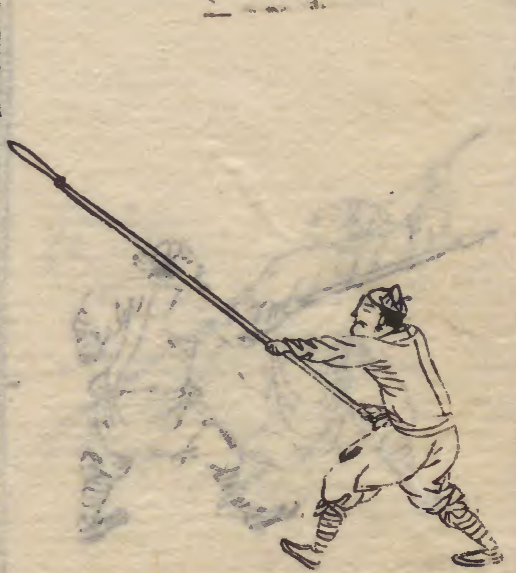
習しゆ藤ふじ牌はい圖ず

牌はいハタテナリ取術とりじゆつノ類るいニ

勢い魚い之の釣つ公こう太た



勢い海かい之の塞さい山さん推お



勢い之の鼓こ鷓せ之の撲うち子こ鷺ろ



それ鎧よろいハ中華ちゆうわの昔むかし義経よりにんと
造つくり軒のり輾せん槍やりと作つくり諸葛しよかく
孔明けいめいが木きと以もつて槍やりと作つくり
を以もつて頼たのみ其その長なが二丈にじやう或あるは
以もつて作つくる長なが二丈にじやう五尺ごせき蓋あし是こゝ日本にっぽん
の鎧よろいと相あ似にたり日本にっぽんの鎧よろいの
倭国わこくの制せいする處ところより鎧よろいと術じゆつと
同おなじくすものなり

勢 平 中



勢 龍 騎



習 狼 筈 圖

竹の枝のまはりと疾よこしう、槍の長はにして敵の共、矢をふせく、矢のたよりそのまはりの術なりと

勢 頭 畔 雞 金



勢 伏 之 埋



勢 步 不 躍



勢 平 低



勢下開



勢退歩拗



勢開釣



勢上架



圖ハ勢ハ盤ハ棒ハ人ハ儂ハ



圖ハ勢ハ平ハ大ハ



圖ハ勢ハ當ハ大ハ



圖ハ勢ハ當ハ小ハ



棍
法
圖

和
二
上
棒
と
フ
イ
ト
ト
シ

走馬回頭勢圖



直上符送書勢圖



滴水勢圖



齊眉殺勢圖



圖ノ勢ハ腰ヲ閃ク



圖ノ勢ハ穿レ下



圖ノ勢ハ頭ヲ倒



圖ノ勢ハ刺レ上





撃手壞圖 此れ村氏野老のたつた
 その具ハ木と以てけらる前廣く後
 鏡長五尺八寸濶三寸具形履れ
 如し截んとすりぬ先一の壞と選の
 三四十歩側て手巾の壞と以て
 うらかりてわさ者といふ



擗鼓圖 擗とハ田の草といふ
 その時笑語して務と防人しと防
 ちらにうけ鼓ケリ

圖 勢の接り下



圖 勢の接り中



彈の圖
和の
乃の
古の
れ此
とち
ゆる
蹴鞠の圖
和の
乃の
古の
れ此
とち
ゆる



闘草の圖
百の草
とけ合
せし
周の
三月
明の
る



天の御剣圖

今よ
えり
わら
の
敷

弄圖

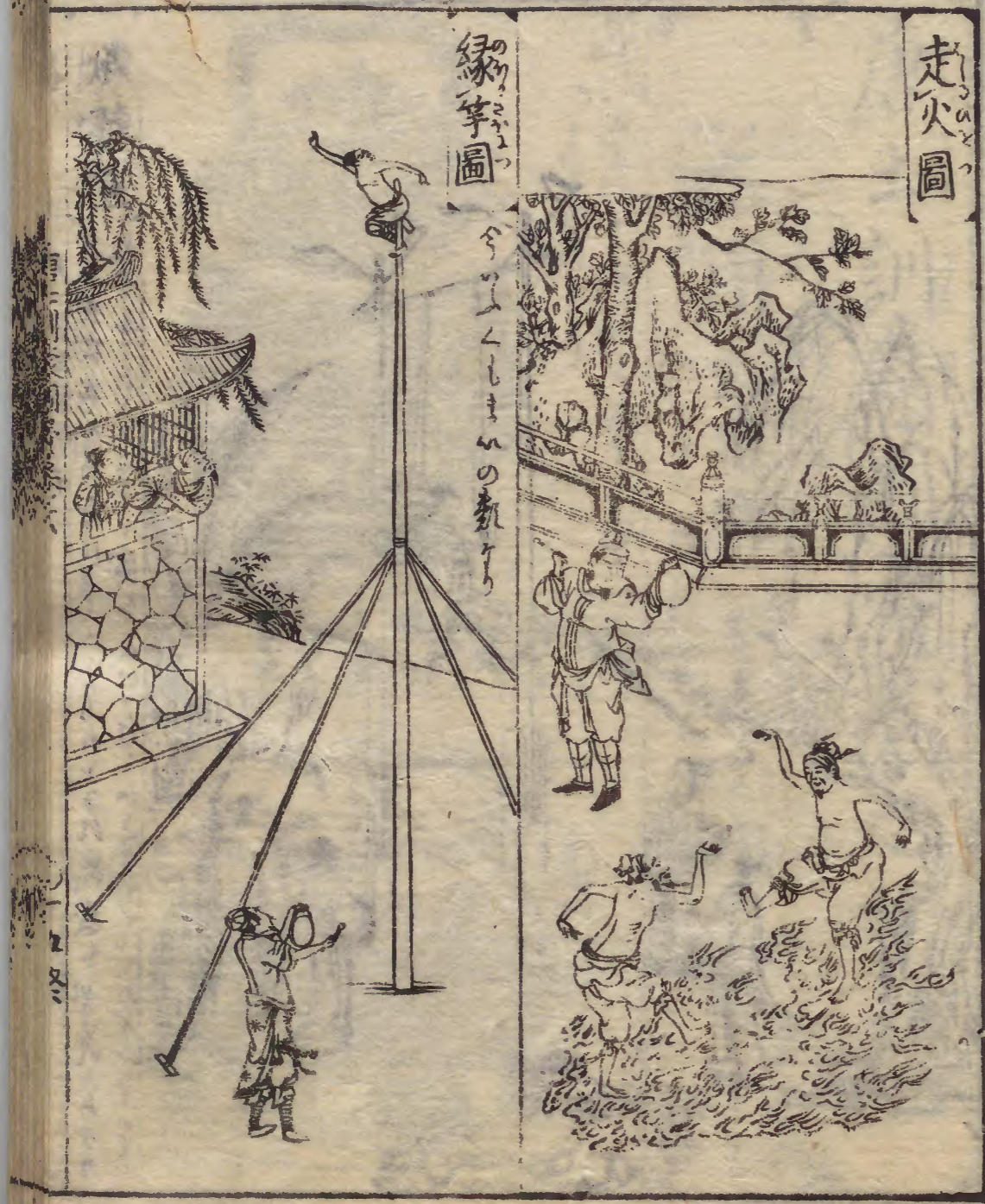
今よ
玉とり
の
敷



走火圖

縁等圖

今よ
し
ま
い
の
敷



鞦韆圖

北方飛狐寒食の節に至ると云ふれと云ふは鞦韆を好むと云ふなり
 此中玉子れよらふく徳を本に付けていさのやせくあそびなり



唐土訓蒙圖彙卷之七

器用 之一

器用 此部は上古の器用にして農具共
 器舟車の筆硯文房の遊りまゝ
 のとしておぼれよとなし

古器 上古の器用とす



神と 酒と 盛つもの也



罍
酒とりのつりつりのつり王の
罍



角
これの白ら地して張らるる
角をういふを角



杯
酒三合



敦
分六
分七
分八
分九
分十
分十一
分十二
分十三
分十四
分十五
分十六
分十七
分十八
分十九
分二十

尾飾
天と
中五寸と受
口の徑一尺脰
の高と二寸
果肉とわら
ものなり

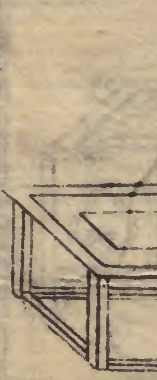


鋪
器に似てい

撰
高のせう
かきこみ組あり
松栞の木のこが
まろよよこも

掬
長
二人四寸業乃
よと

炭
炭組
よ似て構えあり
ものなりまつ
ころ器や

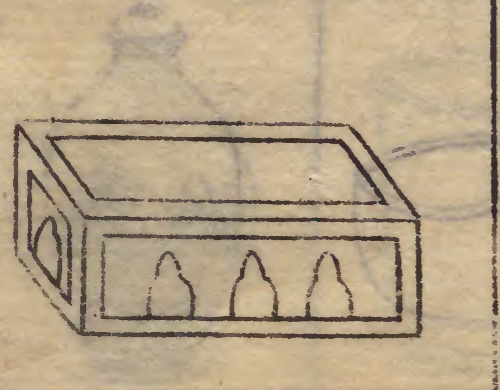
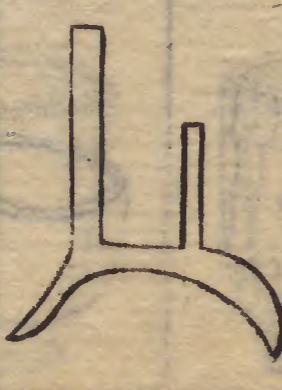
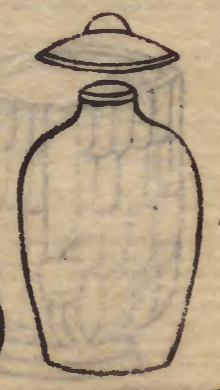


尾飾
天と

中五寸と受
口の徑一尺脰
の高と二寸
果肉とわら
ものなり

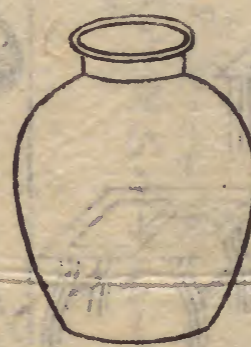
林
長四

尺廣三二尺四寸
足の高と三寸漆
と以て中と赤
ぬう太夫土の用
や一取のもの
なり



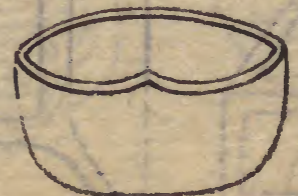
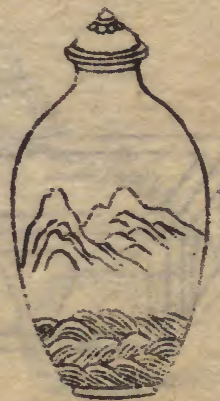
撥 長四

大磨二尺四寸
深さ五寸 鐵を
陳るものなり
その式は案の
みくはつり
瘧瘧
と管のもの文高
三人三斗と受
いゆくものなり
銅
一斗と盛もの
二三斗より
西耳なり



大壘 瓦と

もつづくはこれ
尊し社土の神
とまつくに用の
これと氣と尚
ゆへなり
瓢齋 門と
まつくにこれを
用の耳鏡を
尊と除なり
害と除なり
辰虫
四方とまつくに
しらの



觥 別

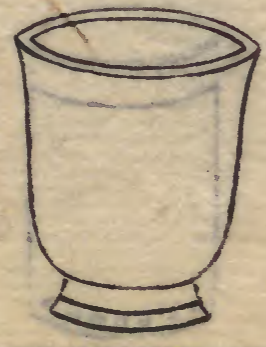
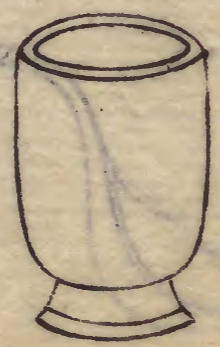
觥と同じ野牛
の角と以て作る
さういふすれは
四寸許りあり
兎の野牛一角アリ
青色重サナリ
蘇 四升
と豆とよ四豆
と區と四區
と蘇と一量の
異名は六升界
量



推 黒
漆の尊に朱の
帯と腹つを
絡へり

散 尊

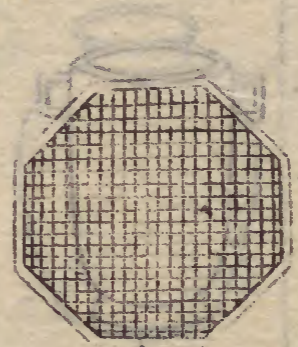
の飾をさゆ
とつし
庚 二鼓
と實つし地を
量つて品甄ま
以てこれとつる



鳥 鳳
鳳と書く祭祀
は尊也
堆と云ふは
黄葉等と
了るれ同類

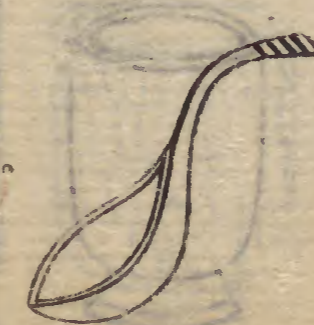
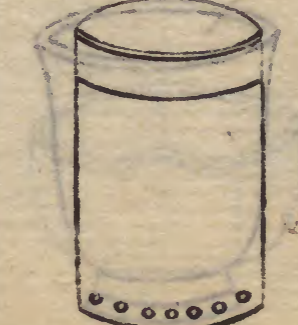
犧尊

のまじり中一
半と飾り
に赤漆を
用の赤尊山
尊壹尊大
尊者尊を
同 類あり
疏布巾 尊
の幕 一丈
二丈 天地とま
つにこれと用
畫布巾 五色
の雲と畫
六義の幕也
二丈一丈の幅
ありて圓なり



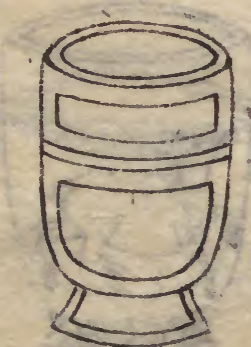
斝

とくは
十斗と斛と
十六斛と斝
と
斝
以てこれとつ
厚さ五分厚
一寸七穴と穿
し
桐 木と
以てこれとつ
和すの器長一尺
博三寸
和云 斝子ノ
類アリ



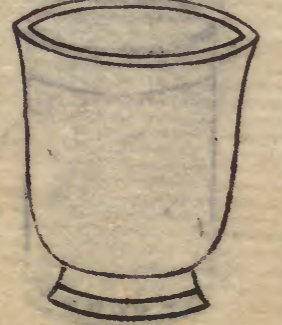
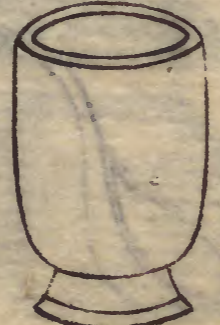
觥

觥 同 野牛
の角と以て作る
さつさすれら
四寸 四寸ありの
四寸 野牛角アリ
青色 重サ手ナ
觥 四升
と豆 四豆
と画 四匹
と量 四量
異名 六斗 四升
櫃 黒
漆の尊 朱の
帯と腹 つま
絡へり



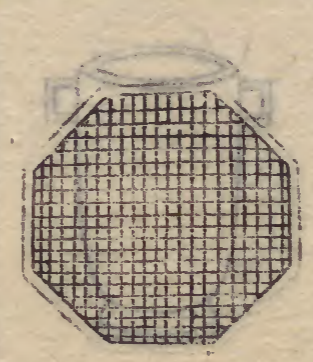
斝

の飾をさゆ
と
庚 二斝
と實 此を
量 器 斝と
以てこれとつ
鳥 鳳
鳳と畫く 祭祀
は 尊 斝と
堆とをさ 斝と
と 虎とをさ
黄 雲等 斝と
り 斝 斝



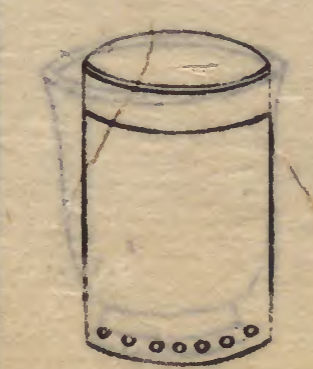
犧尊

のまん中、
牛と飾り
に赤漆を
用の、
尊壹尊大
尊著尊を
同、
疏布巾、
の幕、
二寸天地と
つに、
畫布巾、
の雲氣と畫
六義の幕也
二尺二寸の幅
かくて圓かり



篋

と、
十斗と解、
十六斛と、
甄、
以て、
厚、
一寸七、
桐、
以て、
和、
樽、
類、



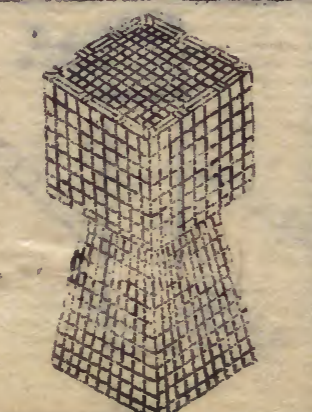
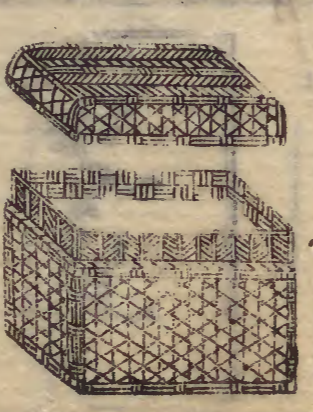
錡

と同一用と
な、
足、
と、
登、
と、
尺八寸高、
二尺四寸、
鑊、
と、
脂、



篋

と、
とつ、
八、
六、
二、
篋、
形、
長、
受、



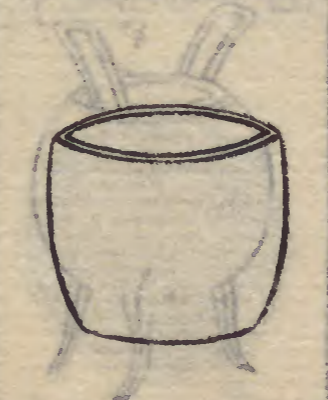
形

豆に似て早
爵と致し又
敷と兼る器
和と兼る五
の類なり

龍博一其
龍と刻て様
とてて様し
てこれと酌し

著 高

三尺口の徑一
尺五寸口の徑
二人盥とてま
て洗水とす
つて器なり



人常

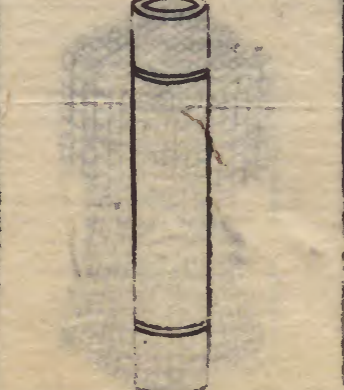
以て言と人
の圖と漆と土
國とてこれ
と用也

管節

竹と
節
太夫采地の更
都鄙と用也

虎常

以て節
虎の形と漆
山國とてこれ
と用也



方明

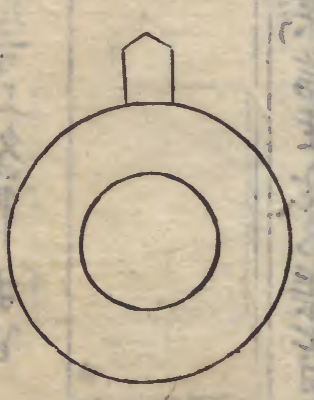
よくはくさるる
四人六器を
上よ奠るもの
なり

備

と同一廟
用の中尊

主壁

なりと壁より
鏡とまし
天地
かり壁と執
位よりしてふ



璋射半

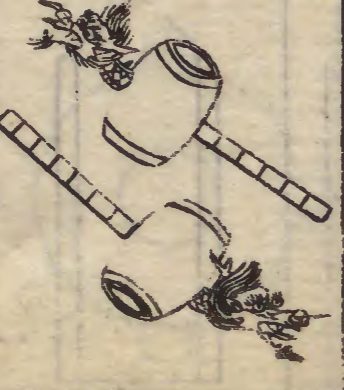
圭と接く
斜と射と
と射と

邊璋

邊璋ハ七寸
中璋ハ九寸
山川の系に
玉瓊大璋瓊
も同類也

牙璋

牙璋ハ軍旅
一用の中璋ハ
小軍旅と用
なり



圭形 長九寸上各半寸と



信 諸侯 信圭と云ふ長七寸
人形と琢る 信と飾と云



躬圭 伯 躬圭と云ふ長七寸
人形と琢る 躬と飾と云



鎮圭 王 六寸五分

長一尺二寸四の 鎮圭と云ふ
琢る 飾と云

桓圭 公 長九寸

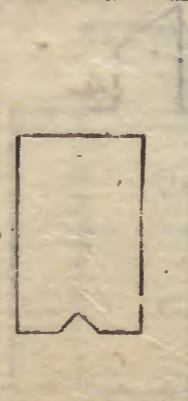
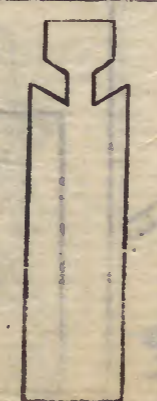
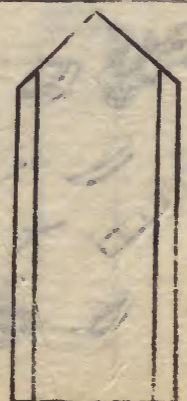
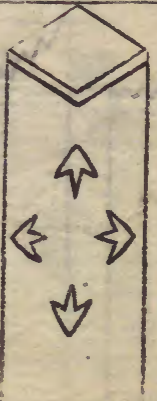
桓圭と云ふ
長九寸 雙楨と琢る 飾と云

大圭 長 三尺

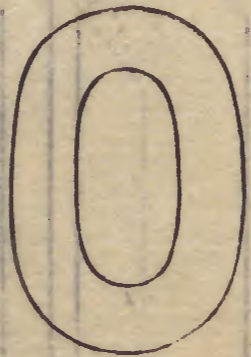
三尺天子と云ふと服と云

冒圭 長 四寸

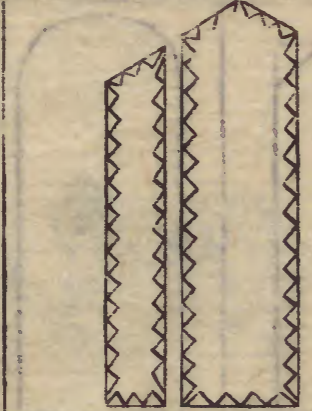
四寸天子と云ふ諸侯と朝と云



璧 長 三寸



環 長六寸

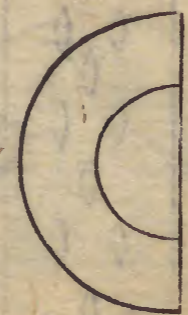


兩圭有邸

長二寸半はく 外方にうらぬと云ふなり

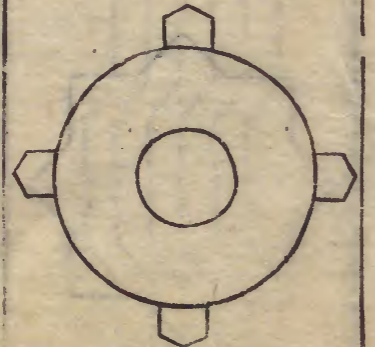


玄璜 北 方乃半璧と横と云ふ



四圭有邸

玉璧ハ六寸中に居り四面各圭と琢る 長二尺二寸



蒼璧 天と

禮するに用ひ 圓一尺二寸九寸わつと二寸



黄琮 地と

礼に用ひ
毎角一寸六
分に割る長
八寸厚一寸

琮圭 長

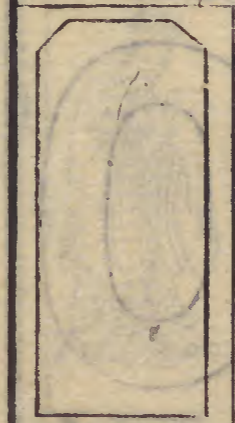
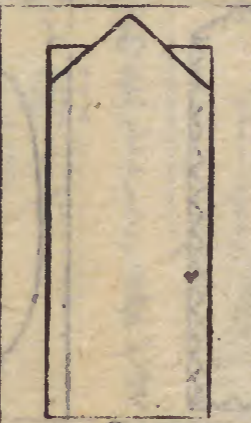
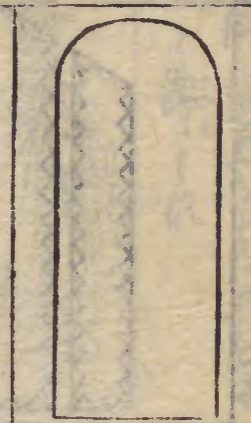
九寸徳と治り
好と繼ハ琮ハ
圓との義

琬圭 長

九寸上に鋒
ハ

大璋 長

七寸諸侯女と
聘するに用の



組琮 組と

のつく琮入り
襲く天子七
寸宗后の五
寸以て權と

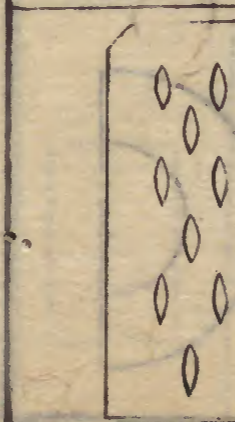
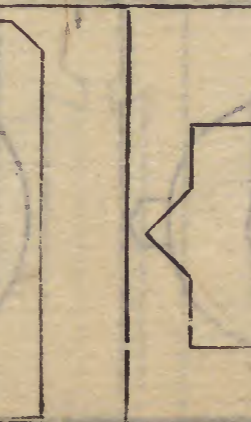
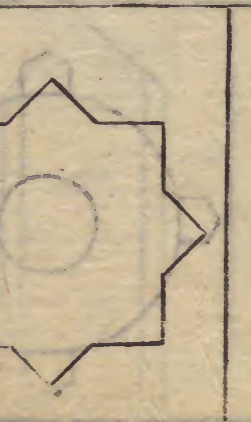
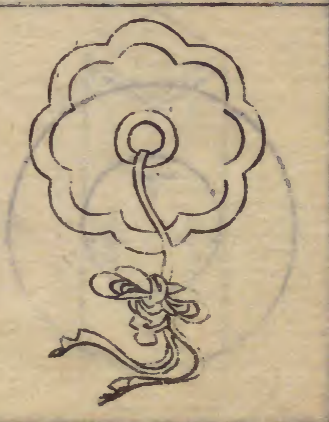
大琮 一尺

二寸内鎮
宗后これと由

穀圭 長

七寸難と和
しかと懸け

信なり



赤璋 南方

火の色に
く半圭と厚
く

白虎 西方

金の色に象
長九寸廣さ
五寸伏虎を
刻む高三寸

蒲璧 諸

侯の封圭これ
と執て執し
以て瑞と玉に
合するなり



穀圭 朝

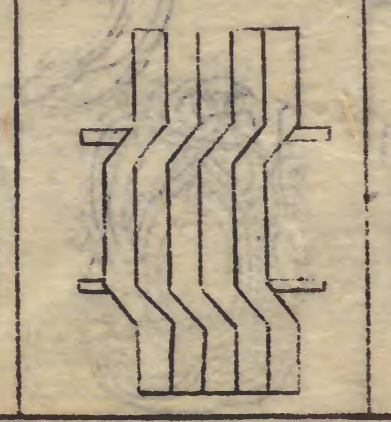
難の時諸侯
王に會同す
に各執る取の
圭あり是ハ男
の執るに男

纁藉 天子

の纁藉五采
の文の纁と以
王と薦木と
中翰と五章衣
と以て畫なり

纁藉 諸侯

の纁藉三采の
文乃纁とて木
と中翰と
五章衣と以て文
と畫なり



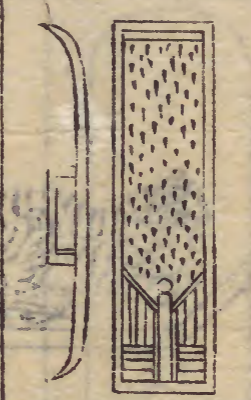
蒲紋綴着子歌
の位ハ二米
割上

瑞玉璣 玉の

赤色と瑞と
いふ璣ハ故乃
と異なり

拱壁玉 徑一

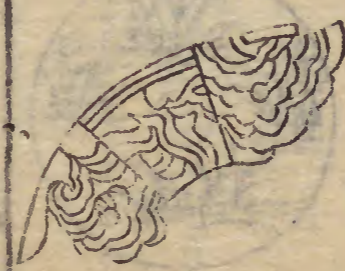
入蒼文一結
瑞中に雲氣
とつらなり



璣 璠 玉 璣

水蒼珮 これ

大夫の佩之取
の玉ハ山と云
多蒼文ハ玉乃
文ナリ



連環印鈕 此印

紐ハ壽考侯乃
中及ハ関南の
司馬此此の紐
ナリ此並印
のおハナリ

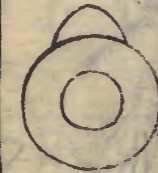
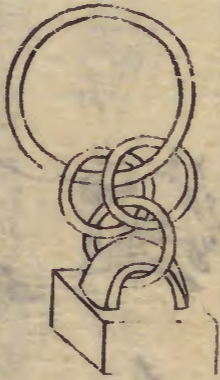
鹿盧 佩

玉環 玦

周ノ玉と玦
ハ是ハ玉の
玦ハ玉の

玉辟邪 書鎮

カケリ此器ハ大
康の墓中ハ
玉と云ハ物の
ハ乃模ナリ



璣 傳

二寸六分長八寸
三分天地四方に
つらナリ天子ハ神
と云ハ璣侯ハ
天子と享レ

璠 玦

ハ三代前の物
お侍ハ高車墓
中の物ト云
璠ハ小圓の如

璠 璠 環

圓徑二寸五分
厚ハ五分色赤
内白く滑ナリ
五對ハの孔と
つらナリ



上
右
左
瑞玉馬黃玉八
瑞玉馬黃玉八
瑞玉馬黃玉八
瑞玉馬黃玉八



馬首高四寸八
分身同四寸一
分長五寸四金玉
色微青月紅粉
初しコレ玉ニ作
スル人馬也



唐の
馬式し言ふ
と孫武式し心
製の同に真ら



環の
屬之彫の文足
とわつととと
よりもい意こ

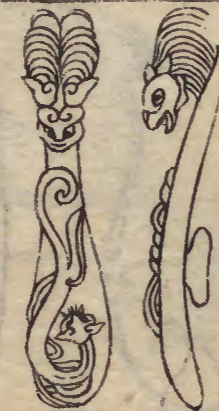


佩刀柄
記に左ノ刀
と佩さしわり
是かたの
フナナリ



漢雙螭鉤

長六寸一分開
九分玉色 蒼白黒
古銅製して子
母の特廻顧狀
これいひに佩て
銀つらもの



銅虎符制

虎符をささ五五
八分洞八分刻て
二に二斤相合
儀のこれと用



漢帝氏合と
漢帝氏合と
漢帝氏合と
漢帝氏合と
漢帝氏合と
漢帝氏合と
漢帝氏合と
漢帝氏合と



博山香爐

天與子孫富貴
自宜



漢朝故事諸王出閣則賜博山香
爐晉東宮舊事曰太子服用則有
博山香爐一云爐象海中博山下
有槃貯湯使潤氣蒸香以象海之
回還此器世多有之形制大小不

漢刀筆形刀

此の刀柄の間に
鐙とを併て佩
器に古人簡牒と
用さるる書と測
しかり

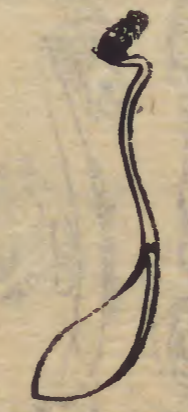


杖頭 此制

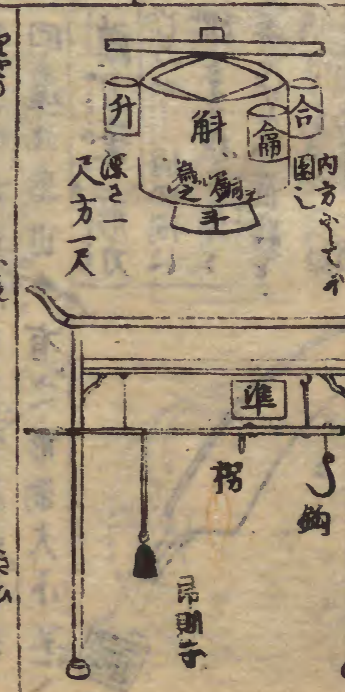
費長房の壺に
に後遊人時其
歸に及て杖と投
るんと龍と化
るに法あり
漢龍提梁 高二寸三分長六寸三分細八分重八兩七錢
代天子の物なり

削 長
一人重さ三兩
棒一さわり

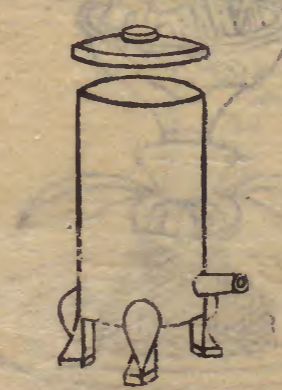
刀 杖 杖
杖とすまよしの
杖とすまよしの
杖とすまよしの
杖とすまよしの



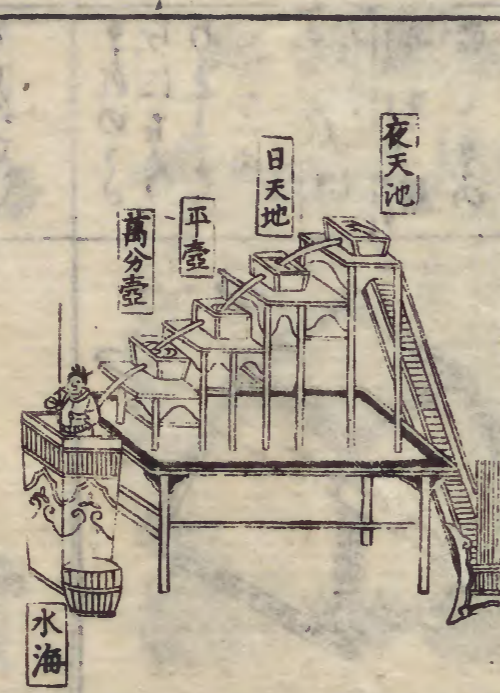
量



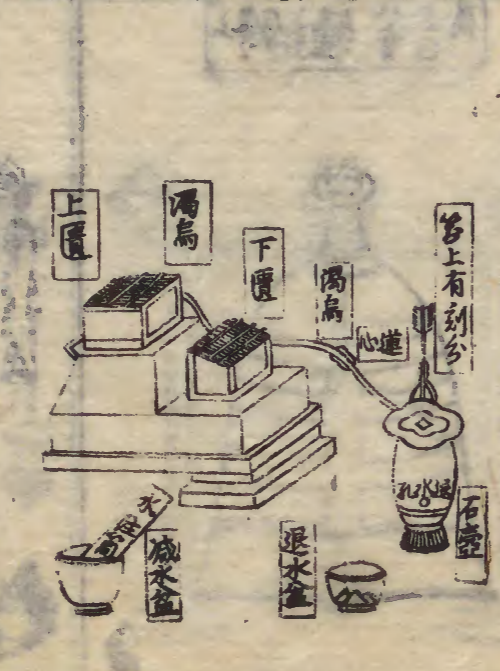
量ハ其秤の筒ハ一合その秤と
千二百と合て合の中は實一合井水
と合て準ら十合と合一十合と升
は十升と斗と斗と十斗ヲ斛と
衡も亦一合の重十二銖二十四銖と積
一合は十合と升と
丞相府漏壺 高々
九寸半 深七寸
半 徑五寸八分
五升と容々 銘
井一字わり 漢
乃制たり



古制 蓮漏圖



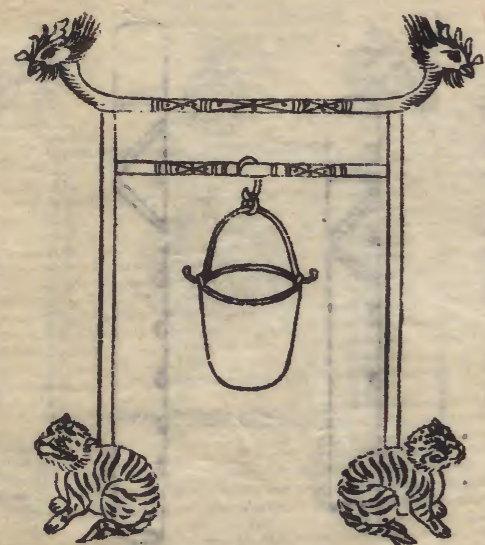
今制 蓮漏圖



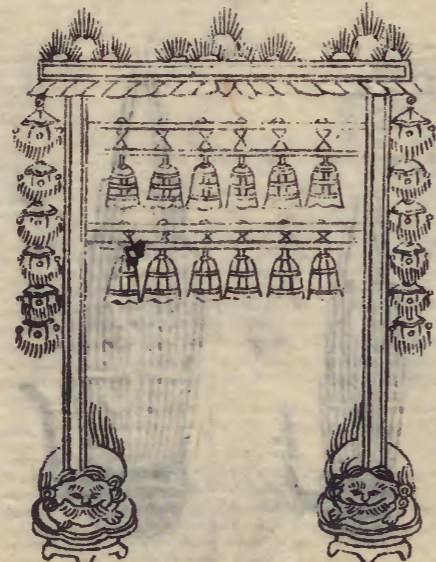
漏刻ハ其帝らうりて制りて晝夜と之の周の華壺氏晝夜と百刻に
之のを必ハ晝四十刻夜六十刻晝必ハ晝六十刻夜四十刻晝夜二分
晝夜各五十刻漢哀帝の時改て百二十刻に晝武帝大同十一年
改て百八十刻に唐の時よりして晝夜百刻として古制の蓮漏ハ晝
圓のこゝ 宋朝もこれと用ゝて唐のこゝも晝夜を百刻として
十二時に之の毎時八刻二十分毎刻六十分水とこゝも二十斤八五合
四十八二の一氣に當り一歳宛て二百十六万分水とこゝも晝上に刻ひ祀
鳥水と別て下て蓮心は深くおと浮て上りて

唐七州宗廟圖卷二

金の鐺千の圖



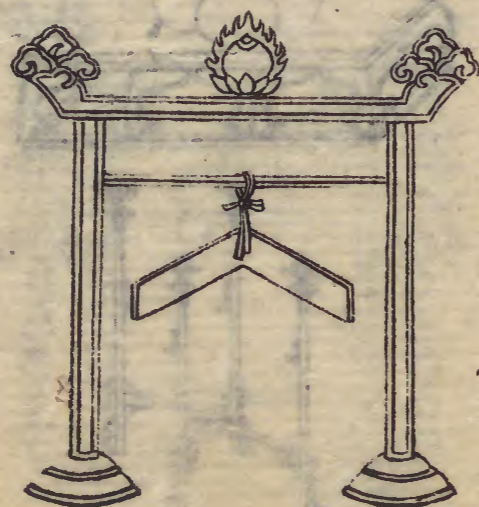
編の鐘歌の鐘



編の磬

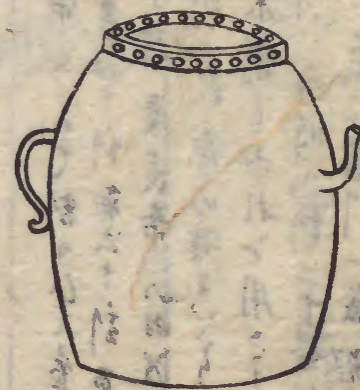
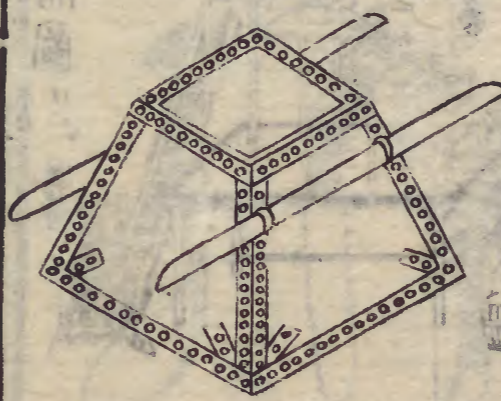


天の球



古斛
 升八斗合量
 角六十斗量
 升量し斛
 六十斗量
 角ありと多
 少の平は格
 に平なす
 としめてし

今斛
 升八斗合量
 角六十斗量
 升量し斛
 六十斗量
 角ありと多
 少の平は格
 に平なす
 としめてし



鑄の鐘八音の属



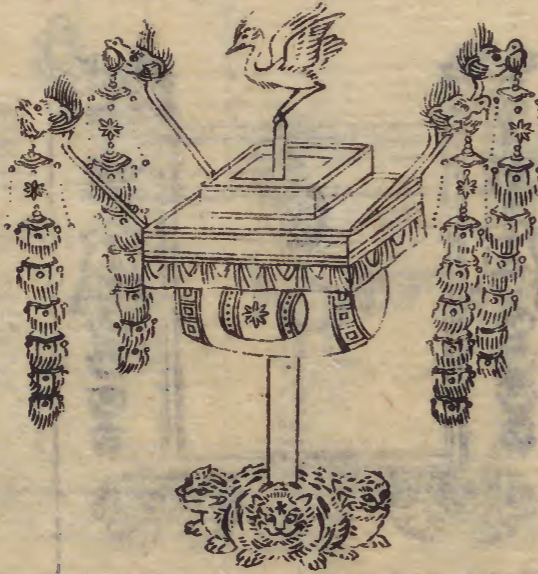
鑪の鑪



鼓=雷



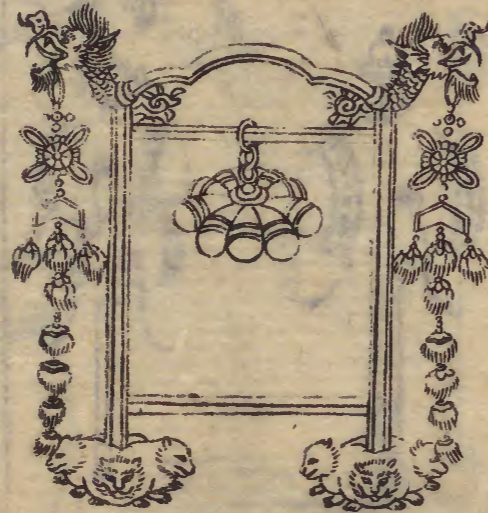
鼓=建



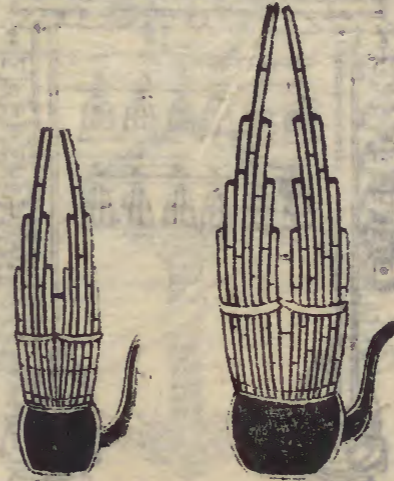
鼓=靈



鼓=靈



箏小大



篪小大



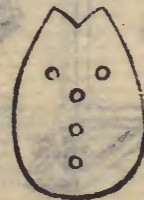
琴瑟



缶古



小



大

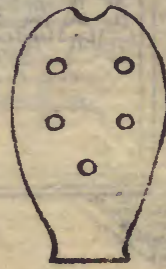


圖 鼓 應

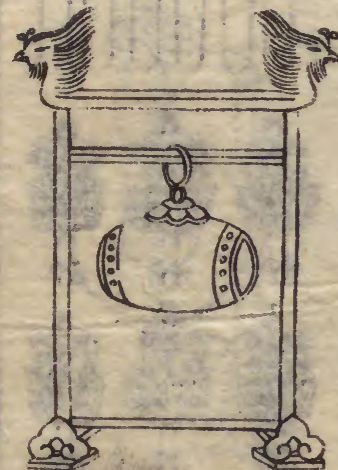


圖 鼓 晉



圖 鼓 鼗

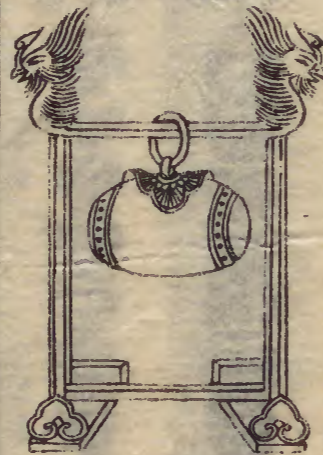
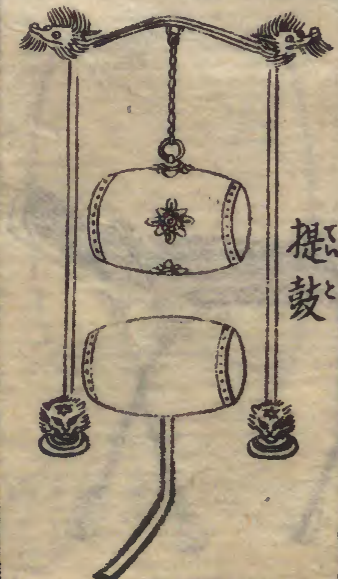
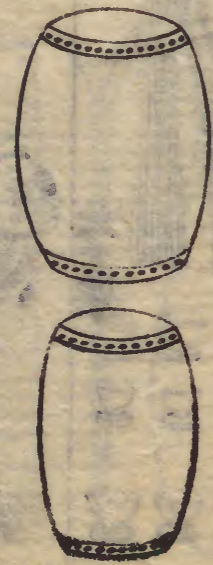


圖 鼓 鞀



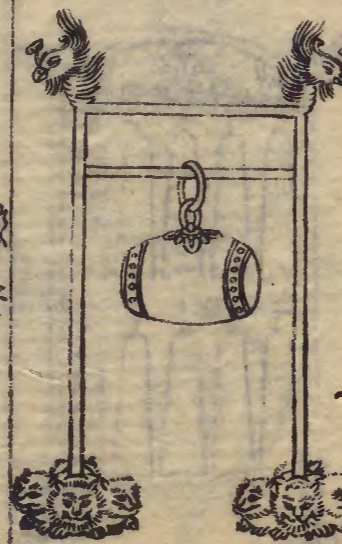
提鼓

圖 鼓 鼙

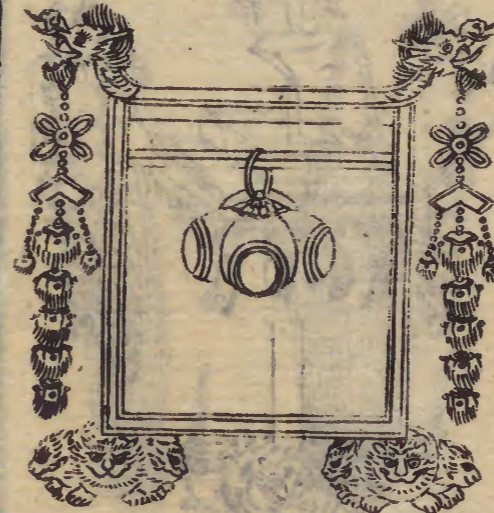


陳鼓

圖 鼓 鞀



鼓 路



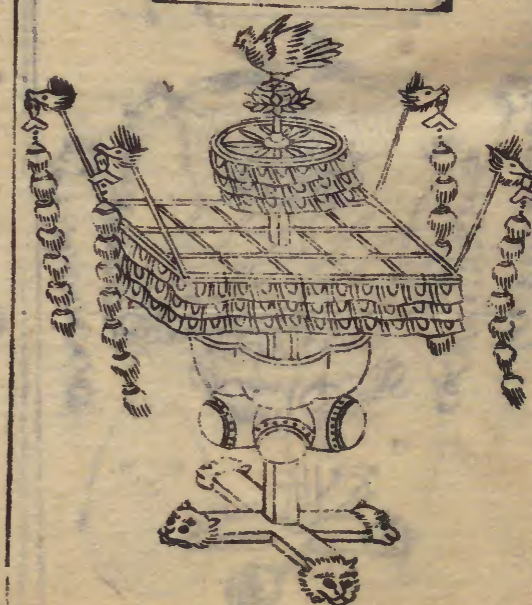
鼓 靈



鼓 鼗 鼓 路



鼓 路

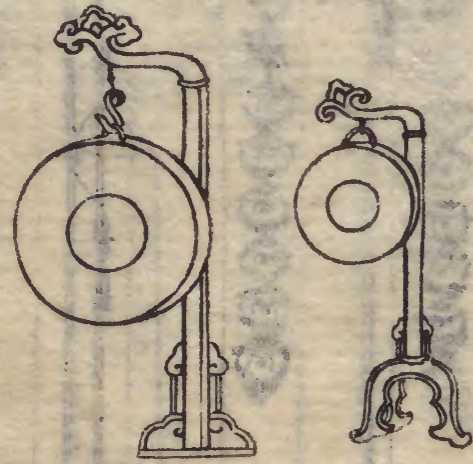


鼓銅

子點

尾焦

筑



龍池
又峰腰
龍池
仙人骨
鶴膝
龍

翠壁

業

羽植牙崇



角桐梧

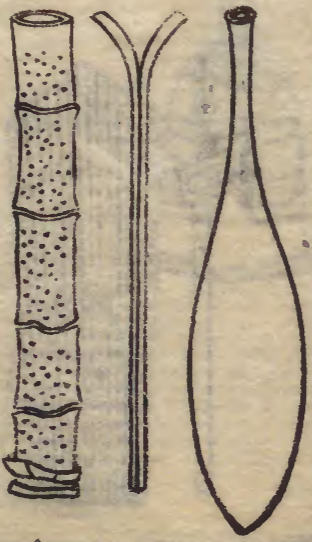
鼓

子簡

魚

角畫

鑼雲



鼓

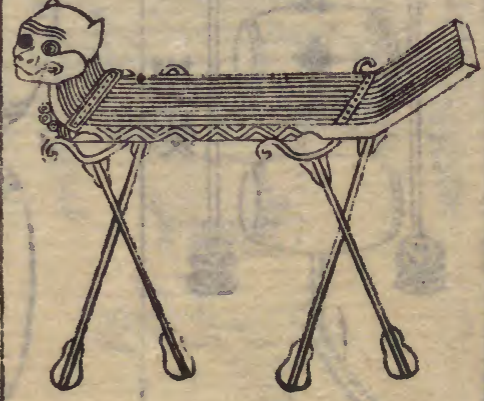
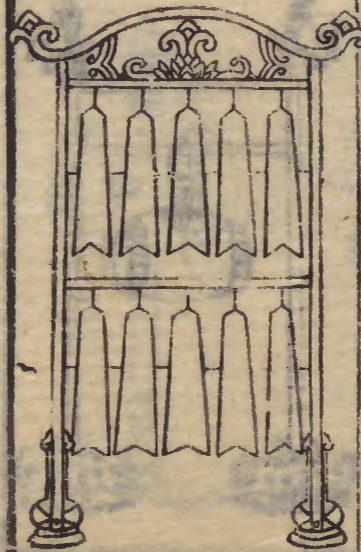
和

響方

板柏

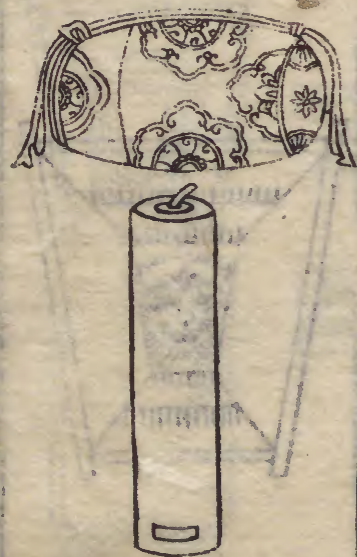
篋

篋



鼓手

應相



旌



翟



雉の義羽
舞に敷つゆなり

侯



新侯

鏡金 鉦金



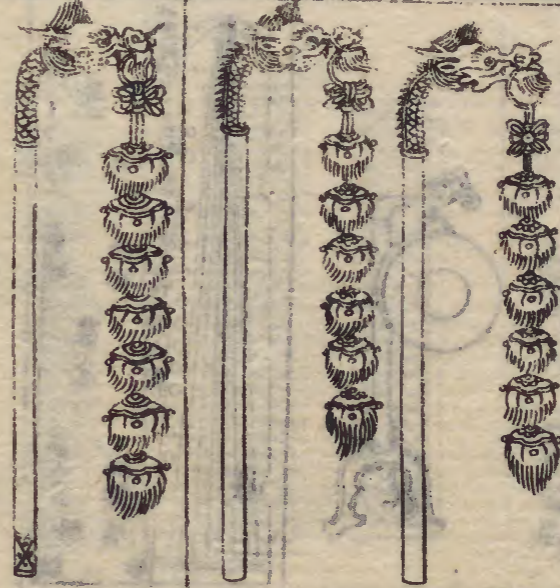
雅 牘



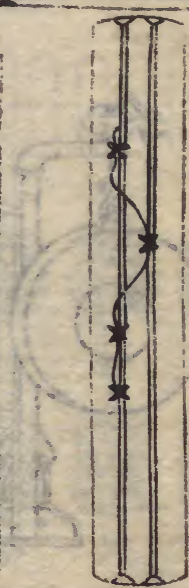
翠壁



舞皇 舞羽



鼓 銅 竹



麾 節



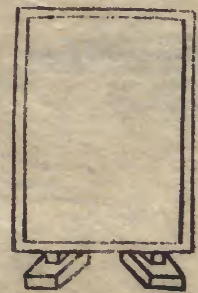
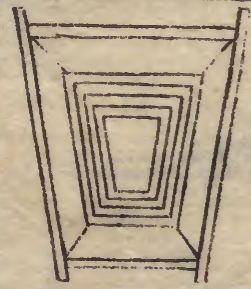
舞汗



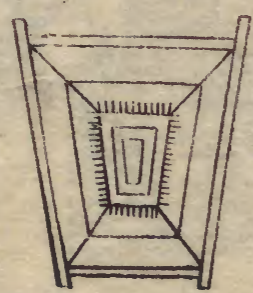
威 旄



侯正五 獸侯鹿 新侯



之



三正侯



獸侯虎豹首

中虎



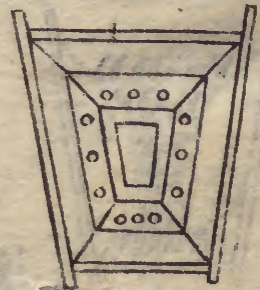
侯麋 大侯 熊侯



中鹿

中兕

首熊侯獸侯正二



間中



皮堅中



此船官の程用者
 此船官の程用者
 此船官の程用者

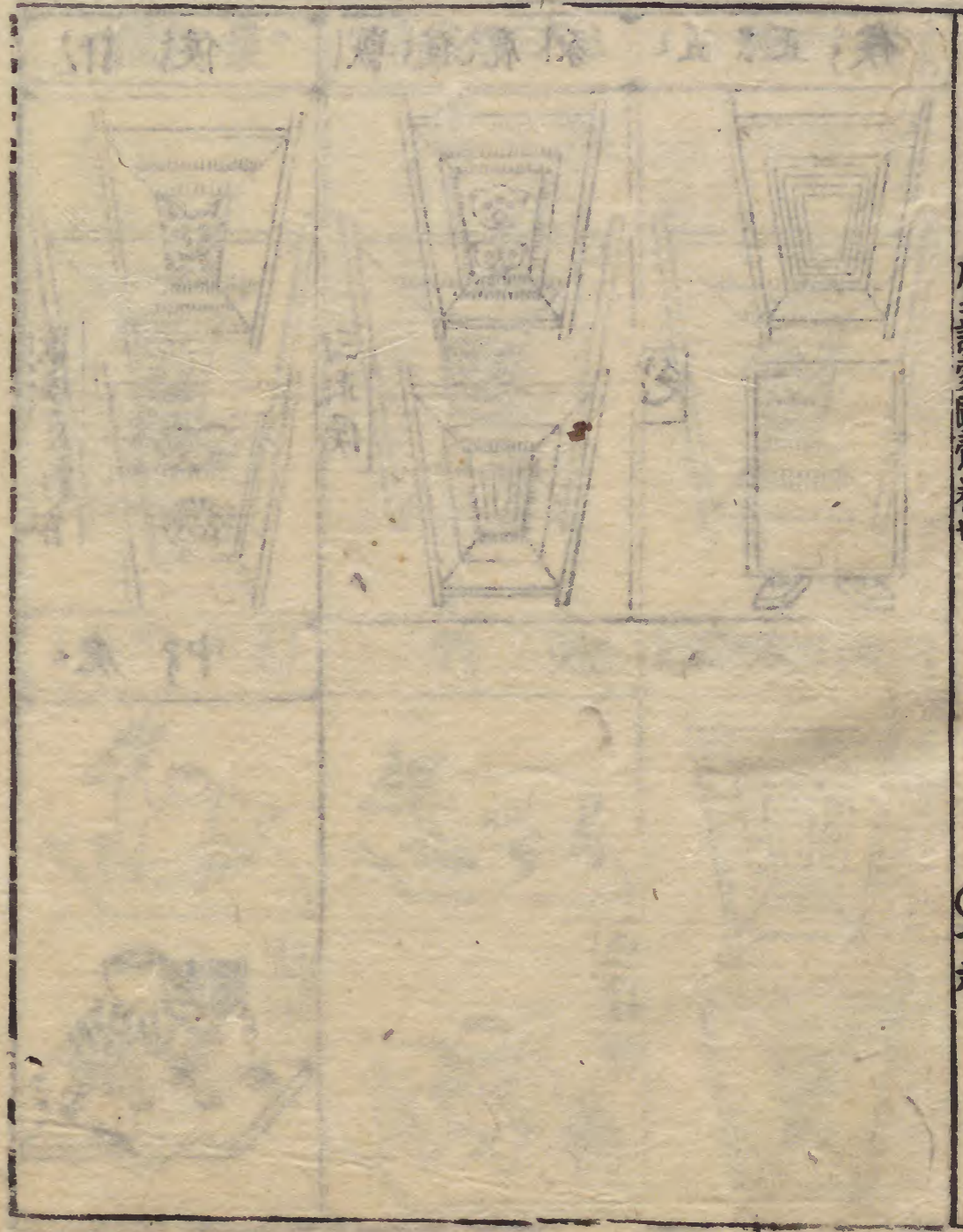


此船官の程用者
 此船官の程用者
 此船官の程用者

此船官の程用者
 此船官の程用者
 此船官の程用者



唐土訓蒙圖彙卷之八 器用之二



唐土訓蒙圖彙卷之八

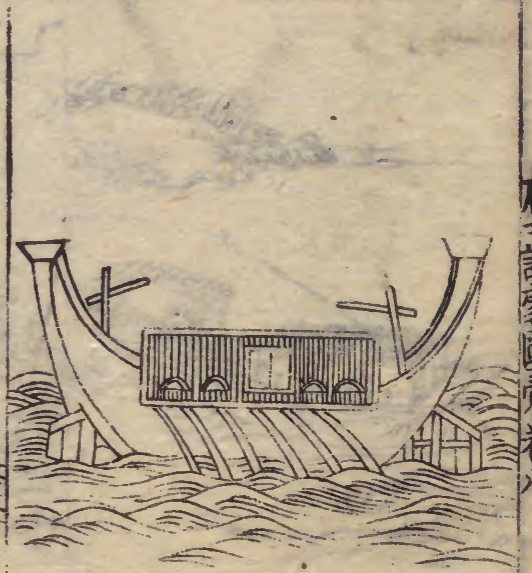
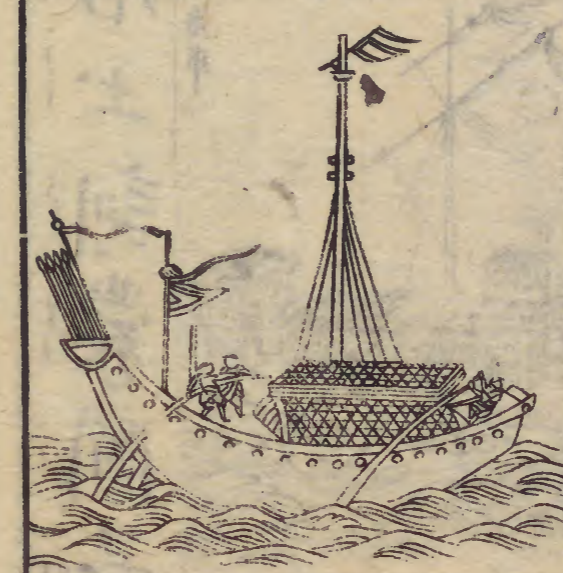
遊艇 今増 船の 上り 業と 毎 疾く 業家 衝 生牛 草の とい 矢石も 一に



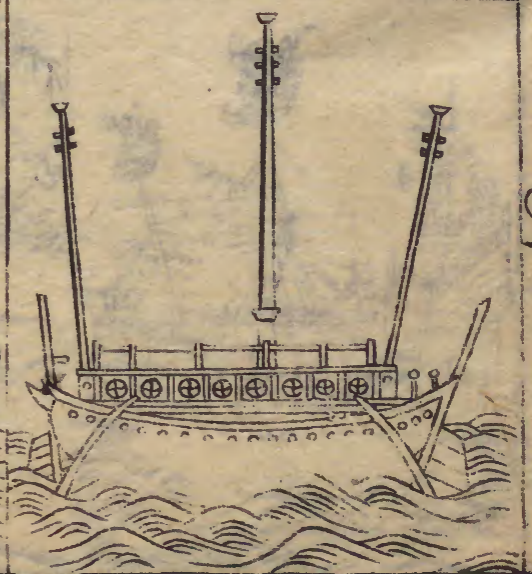
擗船 船の上 擗と 三 倉 窓と 舟の 舟夫 棹 舟の 舟夫 舟の 舟夫



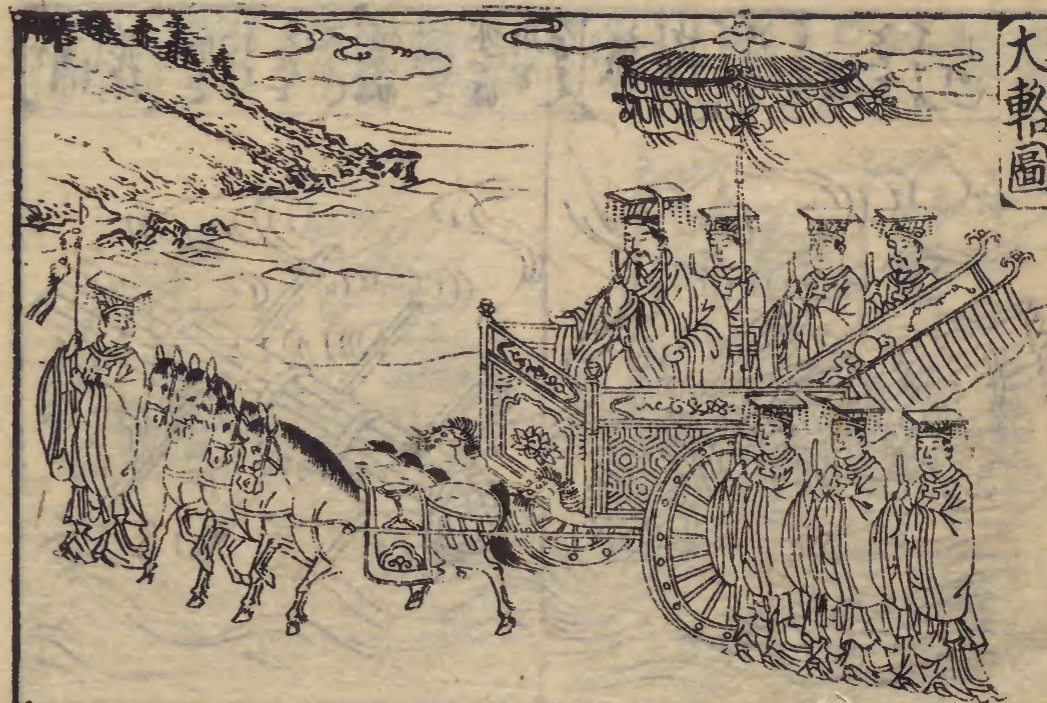
鷹船 船の 船の 船の 船の 船の 船の 船の 船の 船の 船の



兩頭船 舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 舟の 舟の

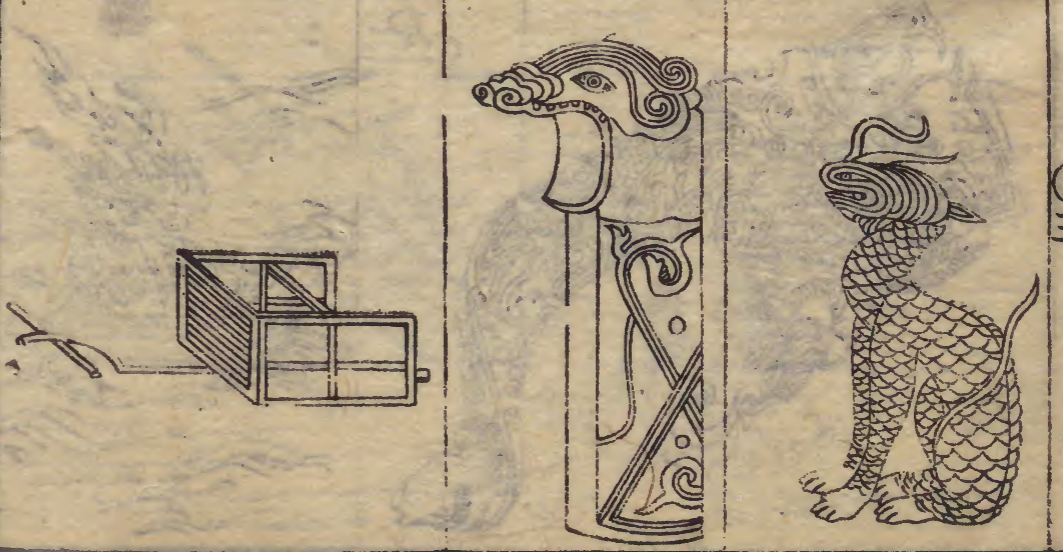


大輅圖



唐書卷一百一十五

輅圖 輅の飾 車乃 薄龍 車乃 輅の飾 輅の飾 輅の飾



周元戎圖



元戎十乘とて、先行と
 軍の前鋒也甲士三人同く載左より
 右より中より衛より先鋒と載し
 職より鳥軍の章とをり

秦小戎圖

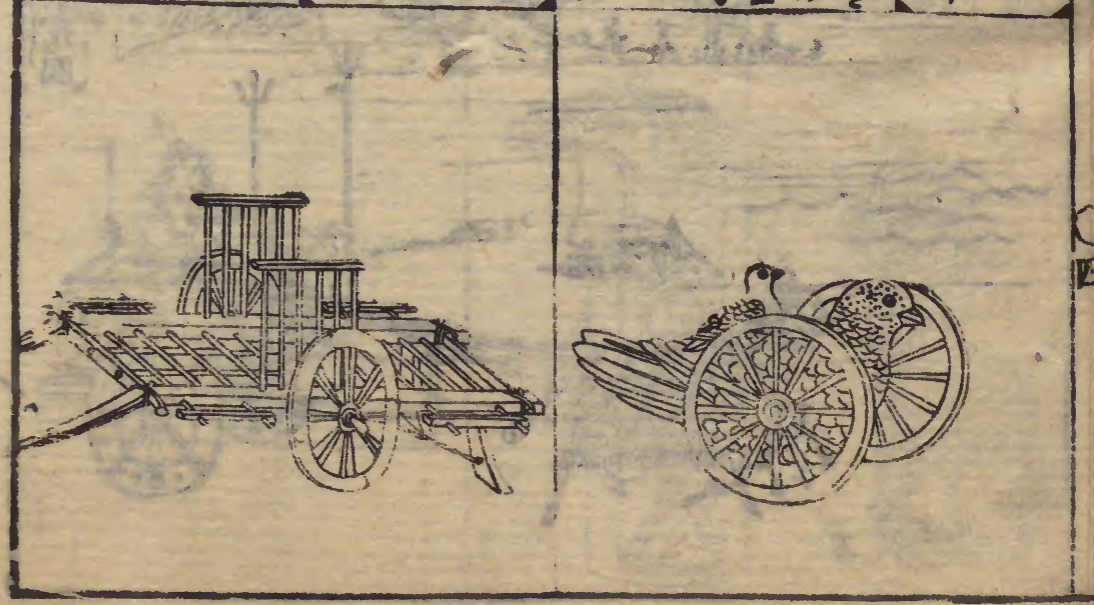


墨車 大夫の
乃不
れ者
かり

翟動 王后
の輅
かり



鳩車 鳴る
去輪の
同子
北子
と子
古一
のり
のり



指南車圖

高一尺四寸二分下長七寸四分轄木の圓徑三寸七分管と木の口圓徑三寸四分と縁人形とつらき常上南と、は足の底圓と通し旋轉と、の軸虫尤、上とし、支、注曰指南車黃帝作と

旂鈴

馬の

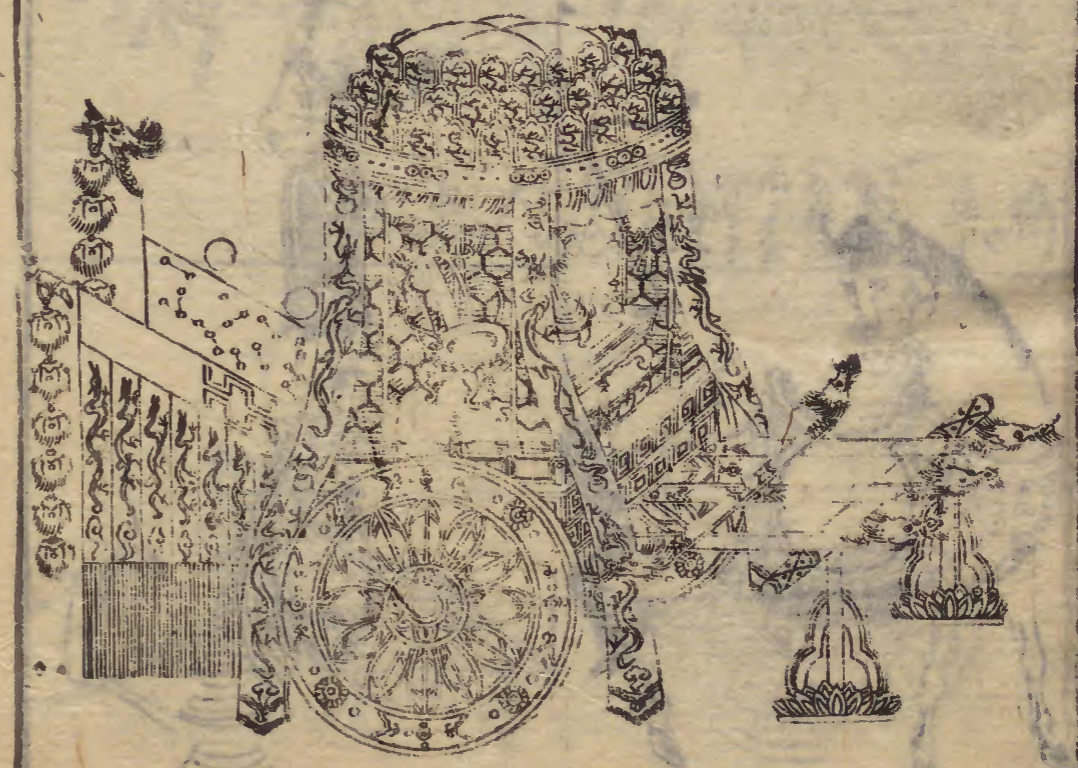


馬諸器圖



玉輅

輅に五の金輅
象路革輅木輅
と合せ、五輅也
そのいづつに
あけて介と畧に
五輅を、飛を
同一くを彩色
のわやまらけ計
かり

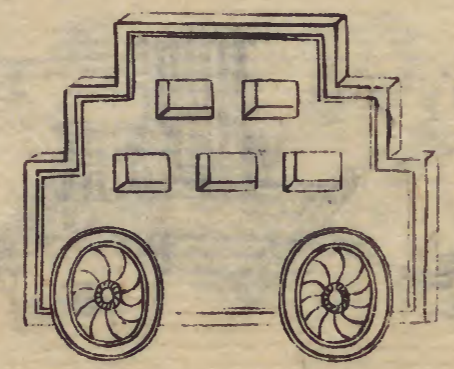


唐土書家画景卷八

玉輅

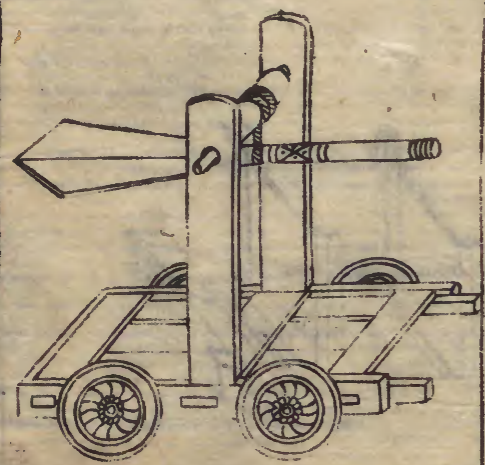
木女頭

形制女
牆の如
板と以
つゝ高六
尺濶五尺
下兩輪と
施一軸と
揚木二條と
施に城攻り用



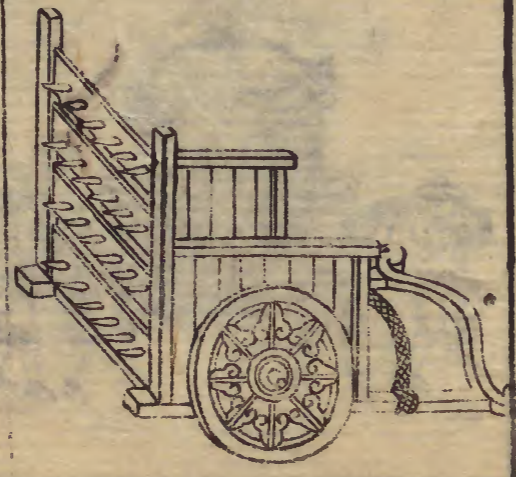
撞車

制不の地
權のや
城と比く
者なり



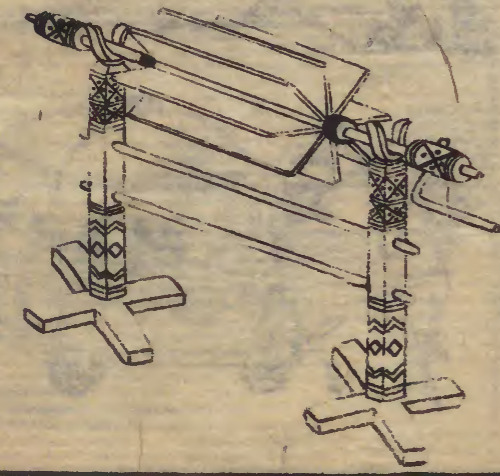
刀車

城門と
せりや
うら
つゝ
よて塞
なり



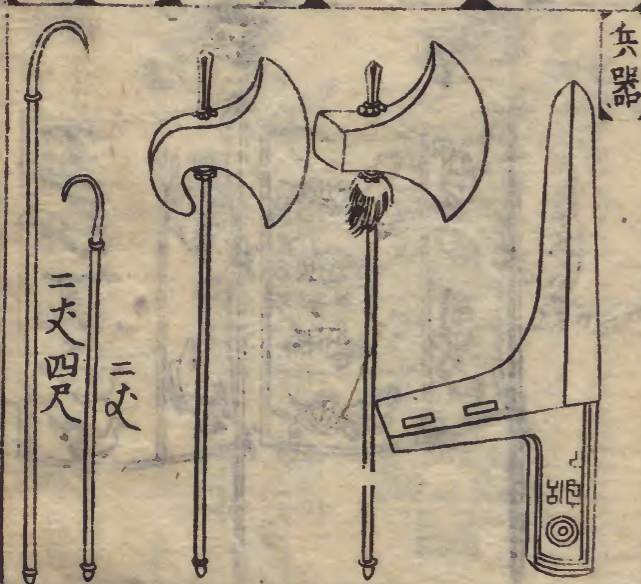
風扇車

はたの平
よて敵に
あひ石と
危一火
球とひら
器なり

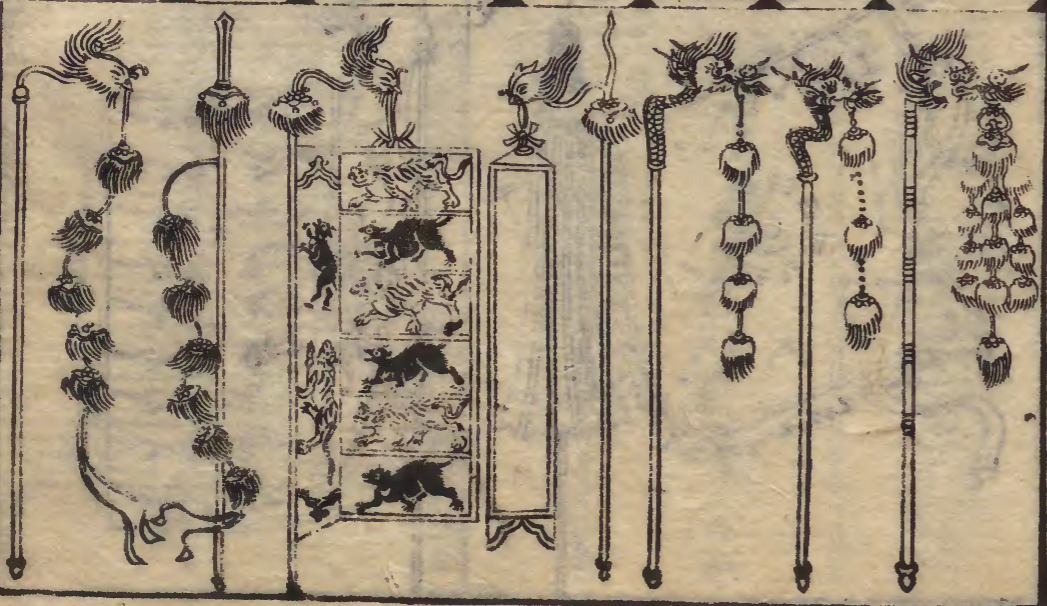




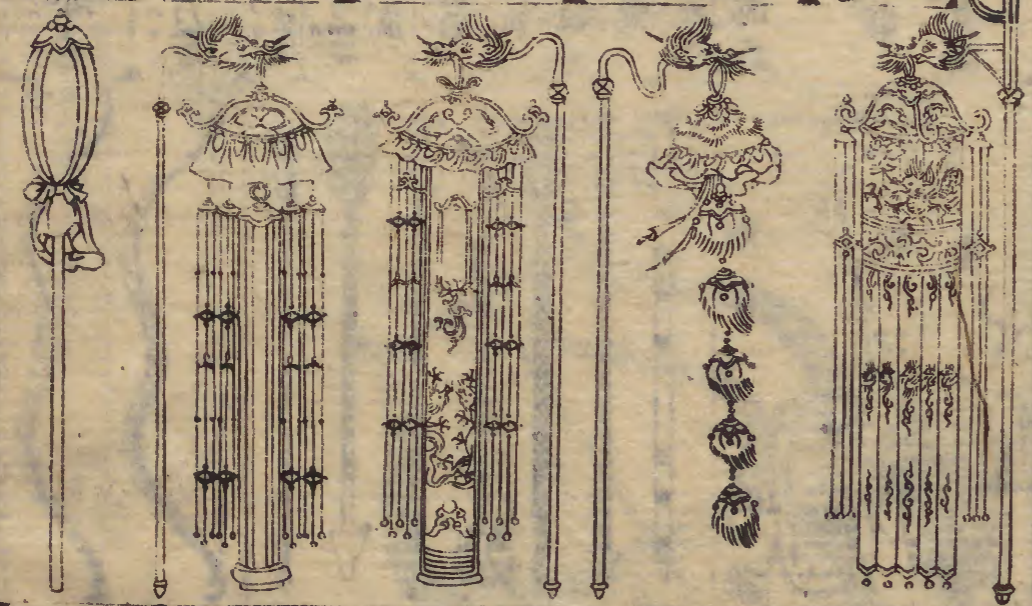
夷 酋 揚 威 古 始 蟹 蕪



獲 旗 物 旌 旄 羽



第 響 緋 絳 麾 黃 幢 纛 繡



弓 檠 黃 瓜 臥 瓜 空 吾 金 棒 鏡 杖 鏡 乃 骨 第 金

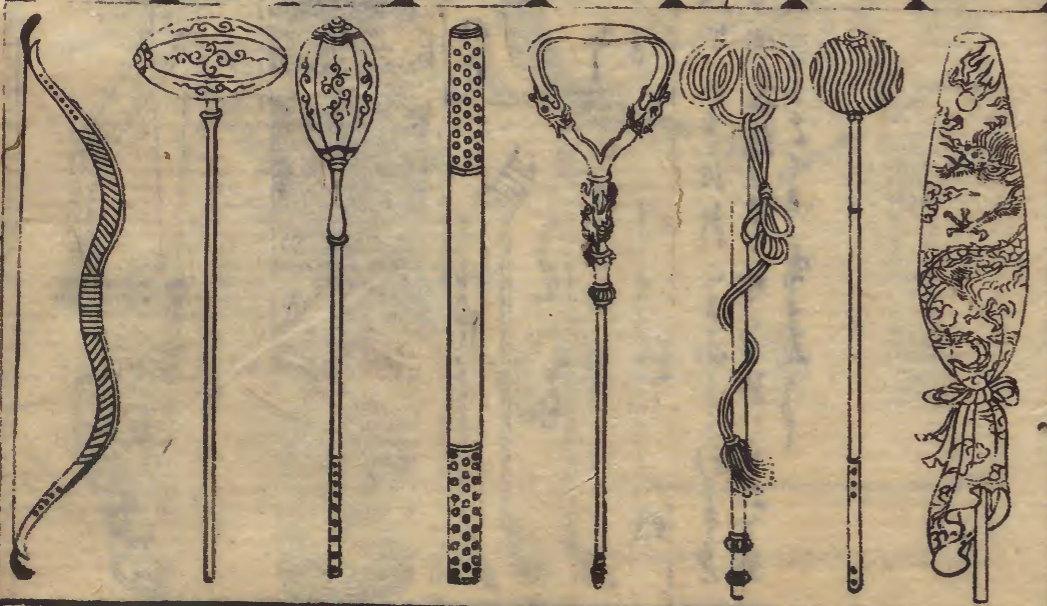
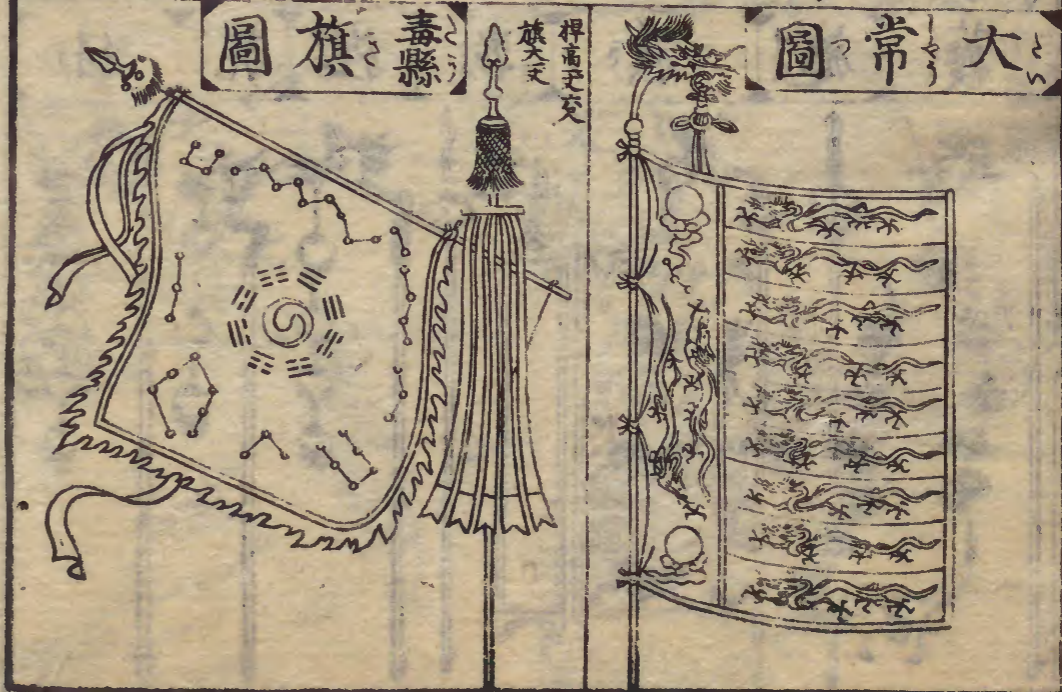


圖 旗 圖 旗 圖 旒 圖 旗



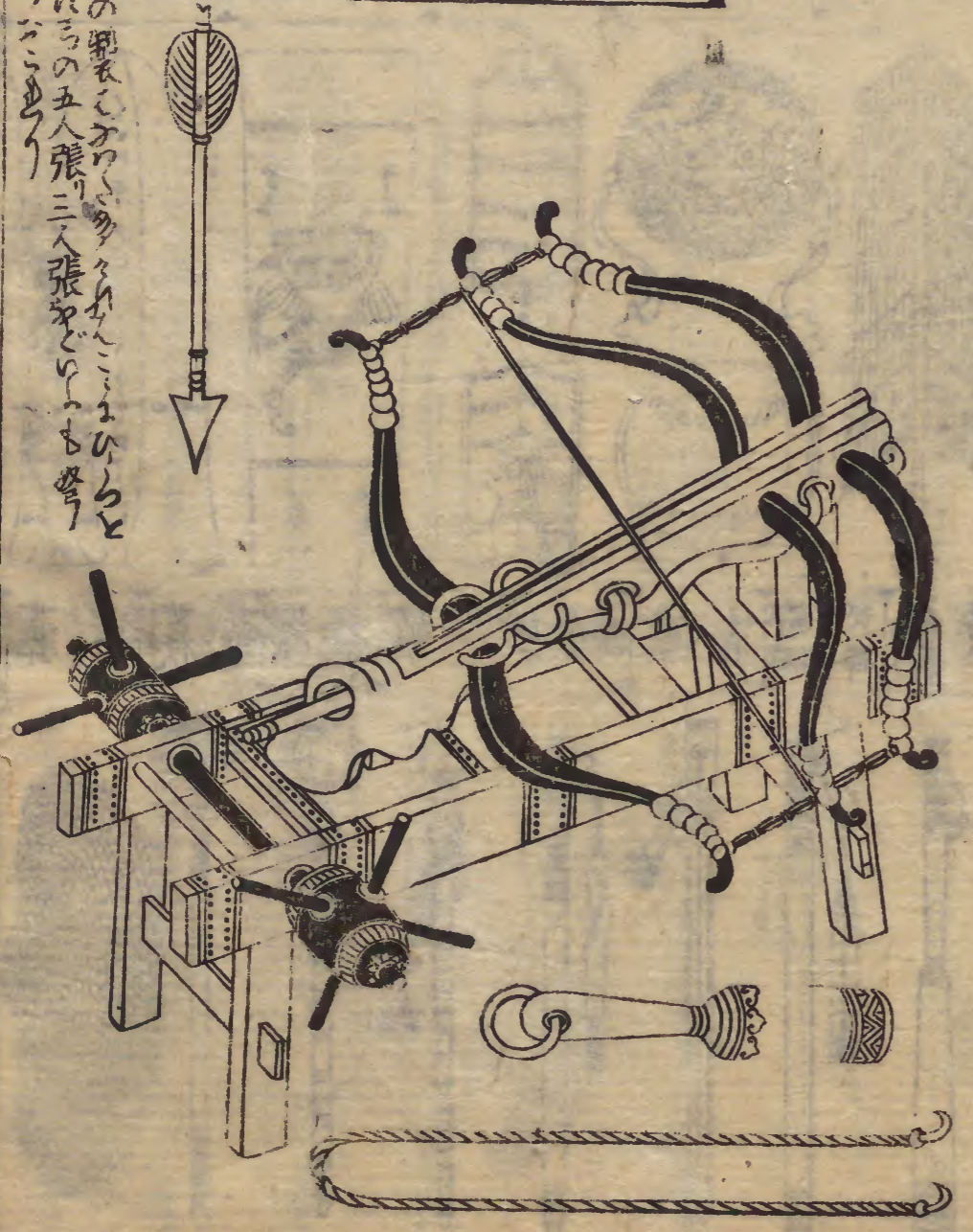
圖 旗 毒 縣

圖 常 大

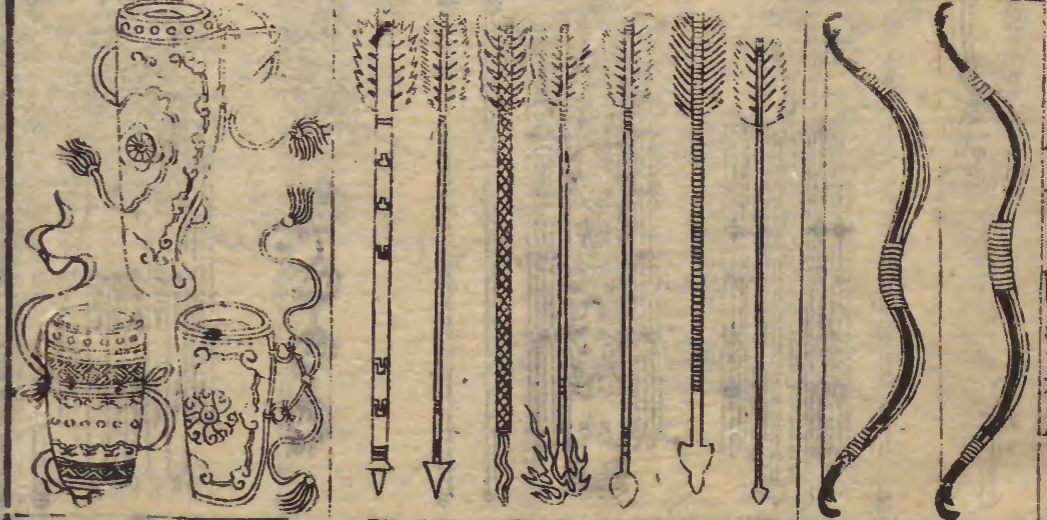


弩の又

弩の形表に方竹の多々かんこいひらと
載はるの五人張り三人張りといふも弩
よりこいひら



黒漆弓 麻背弓 鉄骨鹿 鉄骨鹿 木撲頭 烏龍鎌倉 鳴鈴飛虎 引前 蘆 弩 箭胡



唐土の弓矢圖卷八

流 鬚 魚 服 拾 決

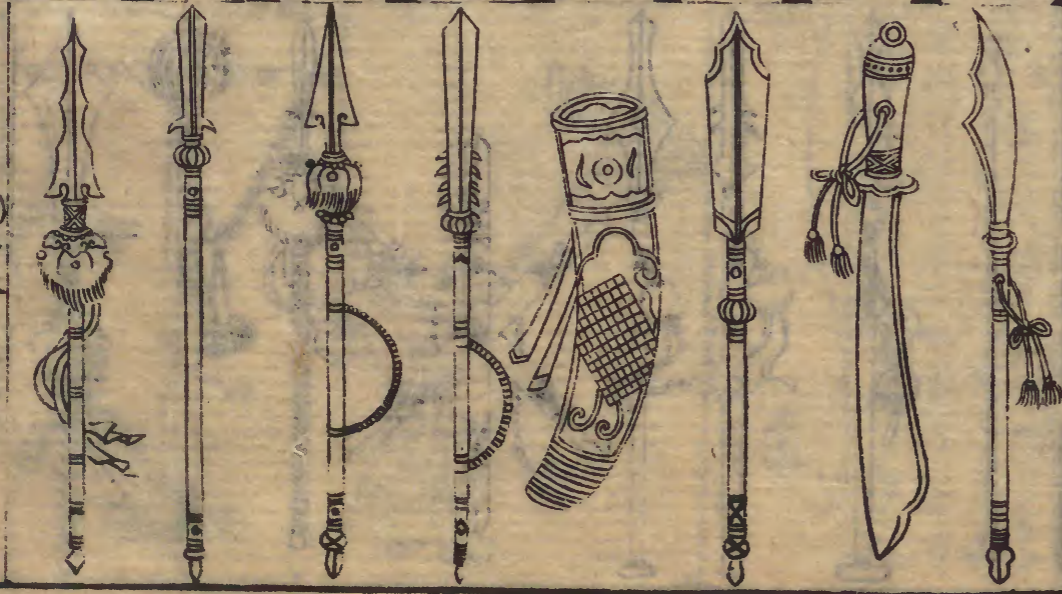
此の流鬚魚服拾決は、
唐土の流鬚魚服拾決の
流鬚魚服拾決の考案す



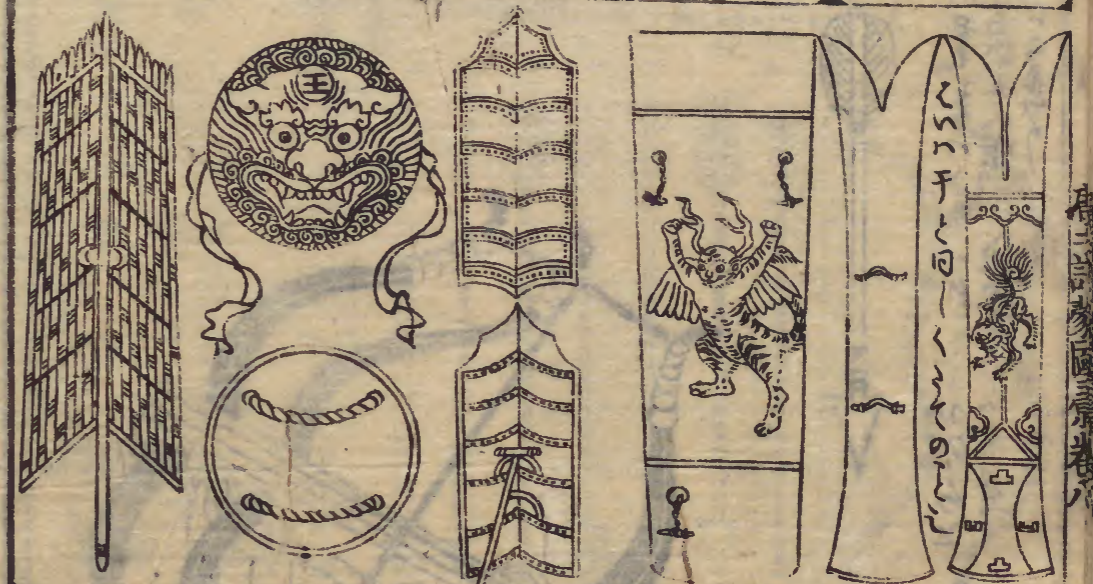
釘 突槍 馬槍 棒牙 狼 棒子 楓 棒白 棒杆 棒提 棒鉤



鎗 素木 鎗 環子 鎗 單鉤 鎗 雙齒 切切 鞞 刀 擗 刀 手 刀 筆



牌 之 作 牌 赤 兵 騎 牌 之 旁 牌 換 式 牌 尾 燕



棒 新 夾 鐵 筒 鐵 護 鐵 雙 龍 鐵 頭 蒜 葉 牌 藤



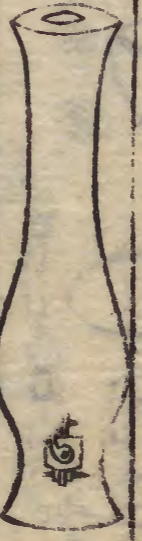
野鎧 利花 砲車 石と区 三寸の敵 介の敵 とう川 杖長三 高とと 石とと 三寸の 三寸の 三寸の



野士門突國圖

飛炮 城上付 三寸の 三寸の

砲連雷地

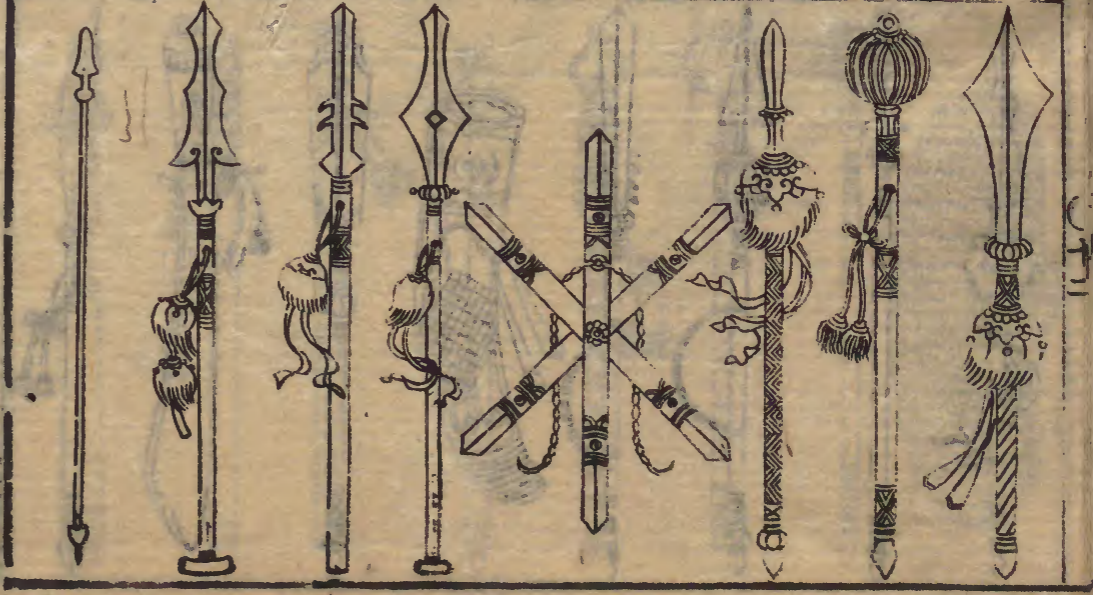


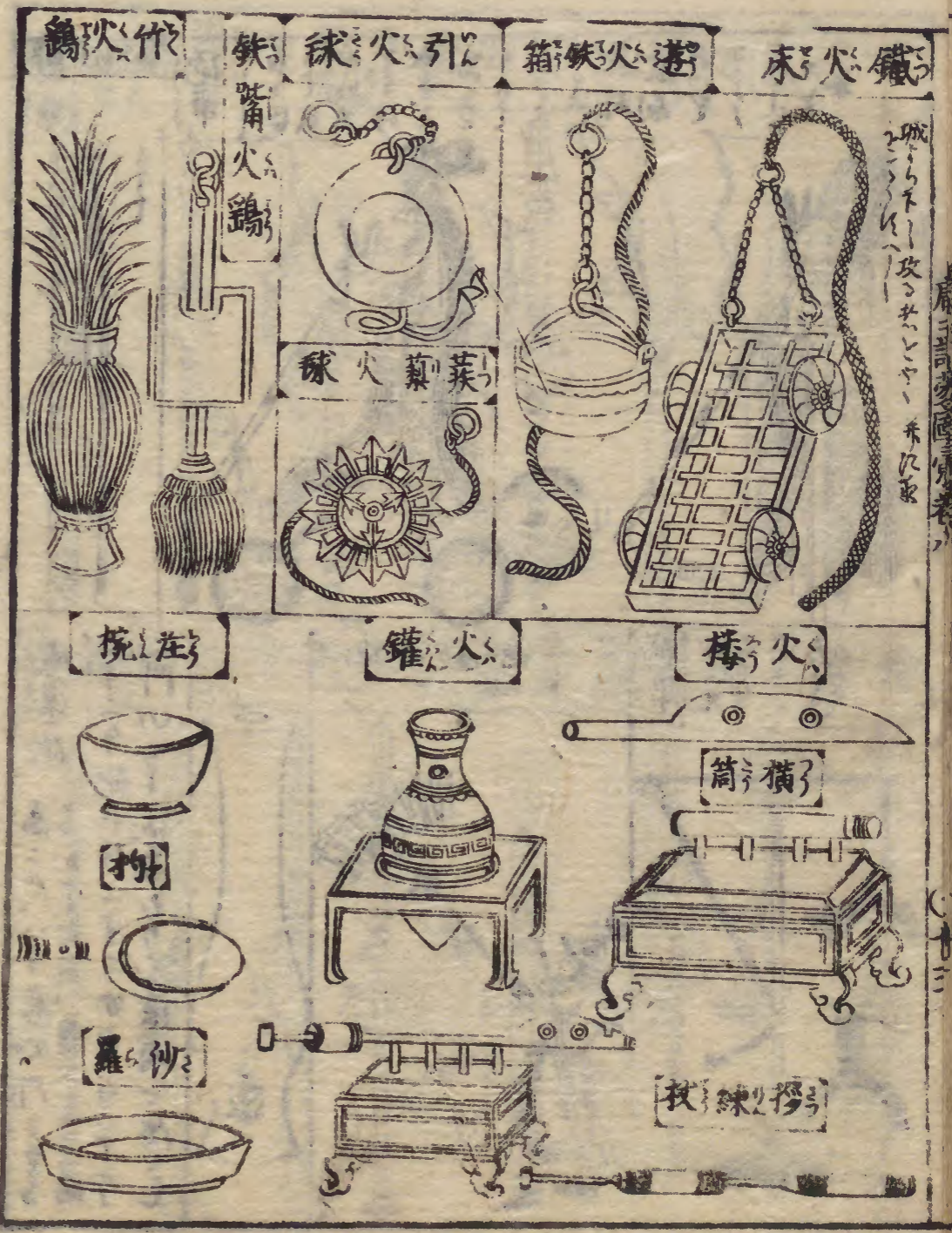
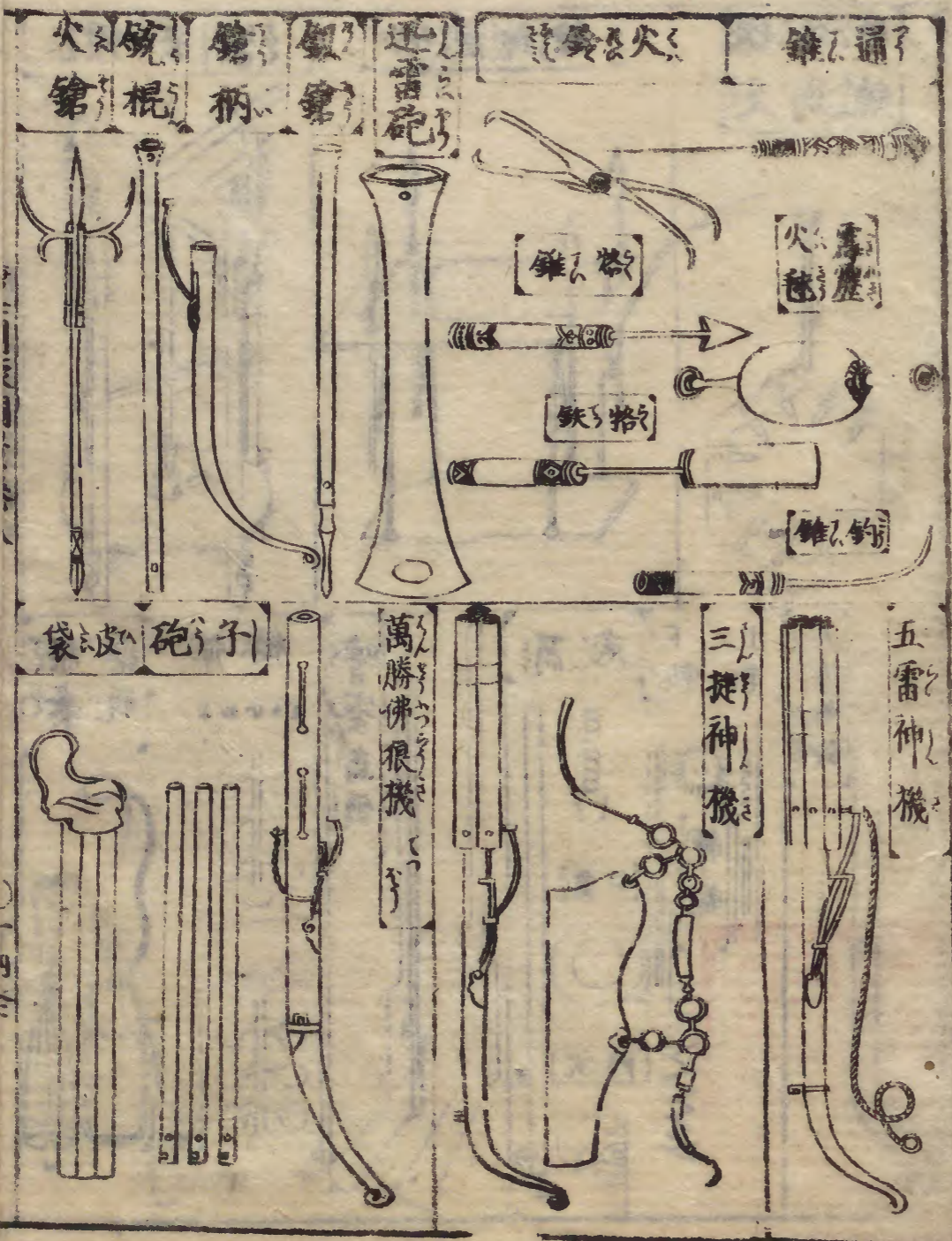
威連砲 高二尺八寸底火門に至る 三寸二分砲口徑二寸二分重百二十斤 火門の上活蓋ありて後雨と防く

大斧 屈刀 優月 刀 戰刀 骨刀 刀 鳳嘴 刀 項 鎗 錐



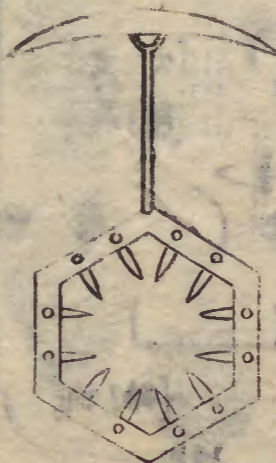
後鎗 提鎗 大寧 筆鎗 拒馬 木鎗 拐突 鎗 拐 鎗 標 鎗



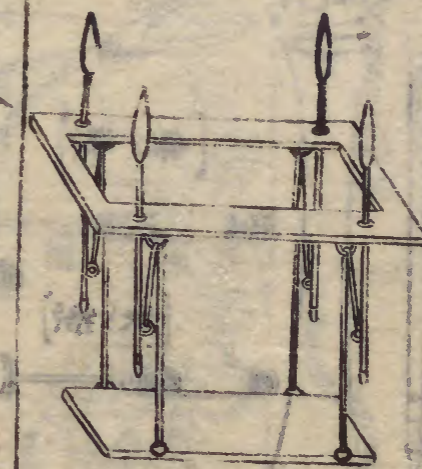


南政倉
文庫

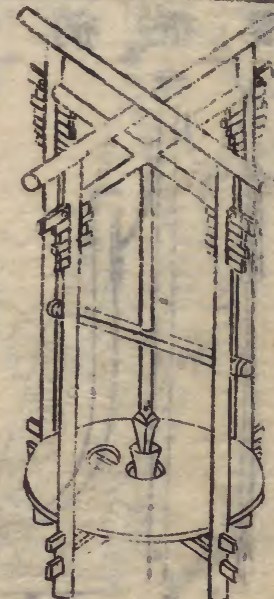
風殺搨
鎌馬足



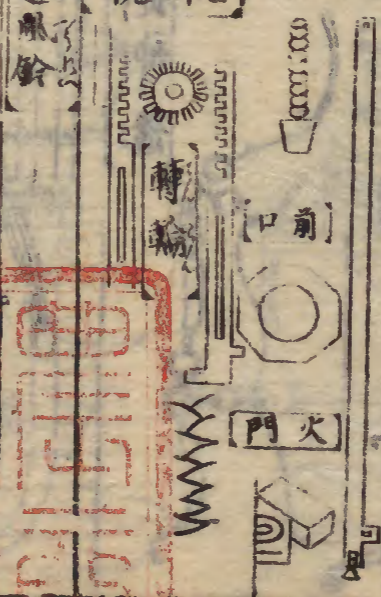
鎗神湯地



鎗架



大上 下 底 筒
追 軌 軌 筒



嚙 模 彈 藥 藥
密 烏 瓶 囊



圖
南
政
倉
文
庫

